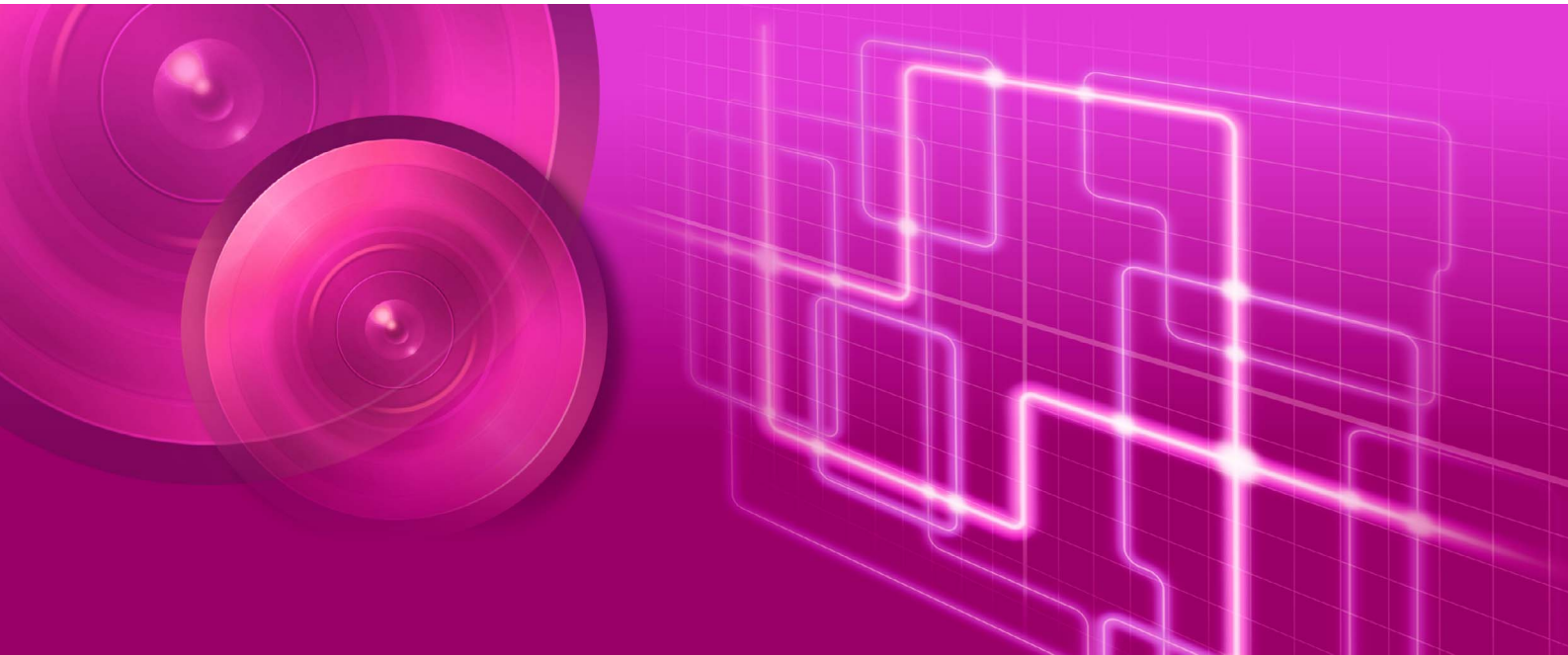




ネットワークカメラ

カメラマネジメントツール Version 2.5 使用説明書



ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。

日本語

はじめに

この使用説明書は、カメラマネジメントツール (以下、「本ツール」) の設定や操作方法について説明しています。ご使用前によくお読みになり、本ツールを正しく利用してください。

* 本書に記載しているカメラには、国または地域によって販売していない機種もあります。

製品に関する最新情報 (ファームウェアやソフトウェア、使用説明書、動作環境など) は、ホームページをご確認ください。

この製品の使用に関するご注意 (免責事項)

■ ネットワークセキュリティ

ネットワークのセキュリティ対策に関しては、お客様ご自身の責任で行ってください。
不正アクセスなどネットワークのセキュリティ上の問題により発生した直接、間接の損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。

<対策例>

- 管理者パスワードは第三者に推測されにくいパスワードを設定する。
 - カメラのHTTP、HTTPSポート番号を変更する。
 - 通信機器でカメラへのアクセス制限を行う。
- その他、対策のポイントについては、次のホームページでも紹介しています。合わせてご確認ください。
<http://cweb.canon.jp/e-support/information/security/index.html>

■ ソフトウェアの使用許諾契約

ソフトウェアの使用許諾契約については、インストーラーとともに提供されるテキストファイルをご確認ください。

商標

- Microsoft、Windows、ExcelおよびInternet Explorerは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- ONVIF[®]は、ONVIF, Inc. の商標です。
- その他、本書に記載された商品名、社名などは各社の商標または登録商標です。

使用説明書について

本ツールをお使いいただくうえで、この使用説明書を含めて、カメラに付属する使用説明書をお読みいただく必要があります。

■ ご注意

- 1 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 2 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3 本書の内容については万全を期して作成しましたが、お気づきの点がございましたら、裏表紙に記載のお客様相談センターまでご連絡ください。
- 4 運用した結果の影響につきましては、上記2項、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。



本書の使いかた

本書はPCの画面上に表示して読むことを想定しています。

■ ソフトウェアの画面例

本書に記載されているソフトウェアの画面は、説明のためのサンプルです。実際の画面とは異なることがありますので、ご了承ください。また、説明には主にWindows 10の画面を使用しています。

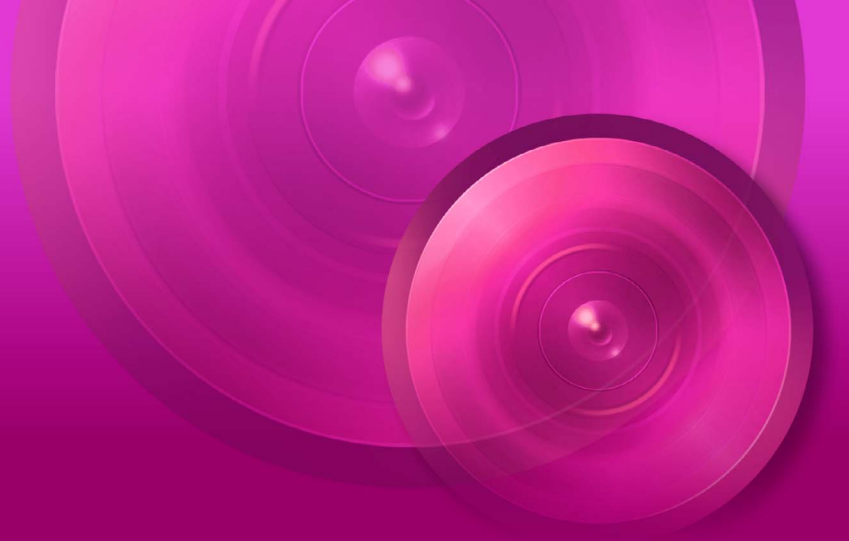
■ 注意を示す記号

アイコン	意味
 重要	この記号は、重要事項や制限事項が書かれています。必ずお読みください。
 メモ	操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをお勧めします。

	はじめに.....	2
	この製品の使用に関するご注意 (免責事項).....	2
	商標.....	2
	使用説明書について.....	3
	本書の使いかた.....	3
1章	ご使用の前に	
	カメラマネジメントツールでできること.....	8
	運用の流れ.....	8
	動作環境.....	11
	システム要件.....	11
	対応カメラ.....	11
	制限事項.....	12
	インストール.....	13
2章	カメラの検出/設定	
	カメラマネジメントツールを起動する.....	16
	起動する.....	16
	メイン画面各部の名称.....	16
	カメラを検出する.....	18
	検索機能でカメラを検出する.....	18
	管理者アカウントを登録する.....	20
	カメラ一覧を参照する.....	21
	カメラ一覧を絞り込む.....	23
	カメラ一覧での操作.....	24
	カメラを認証する.....	27
	共通認証情報の設定.....	27
	検出後にカメラを認証する.....	28
	カメラ基本設定.....	29
	[カメラ基本設定] ダイアログを開く.....	29
	[カメラ基本設定] ダイアログの設定内容.....	30
	設定ページ/ビューワーを表示する.....	37
	カメラを信頼済みサイトとして追加する.....	37
	カメラの設定ページを表示する.....	37
	ビューワーを表示する.....	38
	カメラのツールを呼び出す.....	39
	カメラアングル設定ツールを起動する.....	39
	ツールを起動する.....	39

3章	カメラ指定ファイルの利用	
	カメラ指定ファイルを保存する	42
	ツールの終了時に保存する	42
	メニューから保存する	43
	カメラ指定ファイルを編集する	44
	カメラ指定ファイルの構成	44
	カメラ指定ファイルを読み込む	47
	本ツール起動後に読み込む	47
	本ツール起動時に自動的に読み込む	47
4章	カメラの検出/設定テクニック	
	IPアドレスを指定してカメラを検出する	50
	IPv4アドレスでカメラを検出する	50
	カメラ指定ファイルでカメラを検出する	51
	設定ファイルでカメラを設定する	53
	設定ファイルを作成する	53
	設定ファイルを読み込む	54
	カメラ詳細設定	55
	詳細設定をカメラから読み込み、カメラに保存する	55
	詳細設定をファイルに保存する	56
	詳細設定をファイルから読み込む	57
	カメラの詳細設定の内容を編集する	57
5章	カメラのメンテナンス	
	ソフトウェアを更新する	62
	カメラのファームウェアを更新する	62
	モバイルカメラビューワーを更新する	64
	設定値をバックアップする	65
	バックアップファイルの保存先を指定する	65
	バックアップを実行する	65
	設定値をリストアする	67
	メモリーカードをマウント/アンマウントする	69
	カメラを再起動する	70
	カメラを初期設定に戻す	71
	ログをダウンロードする	72
6章	付録	
	メッセージ一覧	74
	警告メッセージ	74
	エラーメッセージ	77
	トラブルシューティング	80
	カメラの管理者アカウントについて	82
	索引	83

1 章



ご使用前に

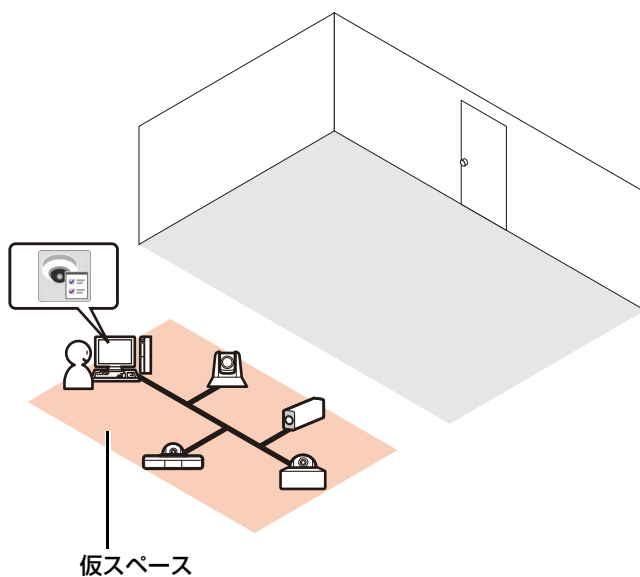
本ツールの機能の概要や実際の運用のあらまし、動作環境、インストール方法など、本ツールの利用にあたって知っておいてほしいことを説明します。

カメラマネジメントツールでできること

本ツールは、キヤノンネットワークカメラ (以下、「カメラ」) の初期設定やメンテナンスを行うソフトウェアです。IPアドレスの設定などのようにカメラの導入時に必須となる基本設定や、導入後のカメラの設定のバックアップ/リストア、ファームウェアの更新を、複数台のカメラに対して効率よく実行できます。

運用の流れ

1. 初期設定



カメラを現場に設置する前に、カメラを仮スペースに置いて初期設定を行います。PCと同じネットワークにカメラを接続しておきます。

検出

ネットワーク上のカメラを検出します (P. 18)。

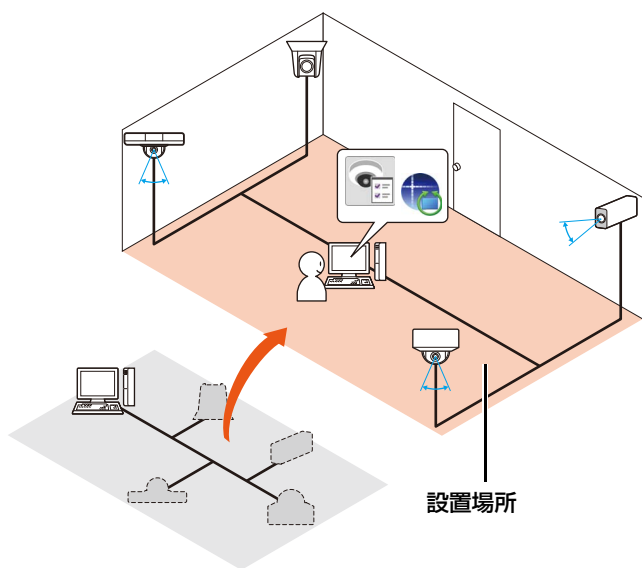
基本設定

カメラのIPアドレスや日付・時刻、カメラ名、映像に関する設定をします (P. 29)。

映像確認

カメラのビューワーを起動して、カメラの映像をすぐに確認できます (P. 38)。

2. カメラの設置

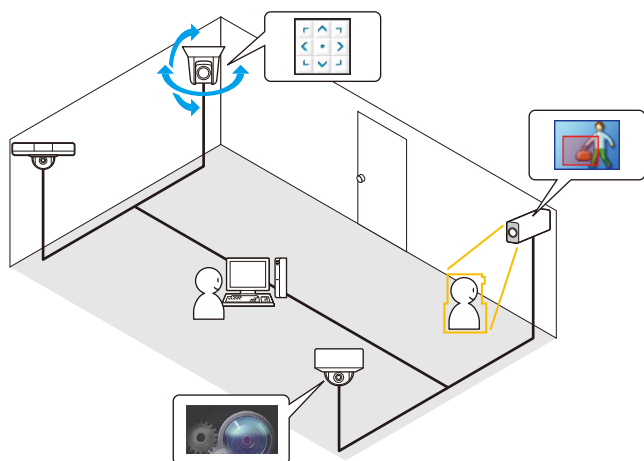


カメラを実際に設置します (詳細は『設置ガイド』参照)。

アングル設定

お使いの機種によっては、本ツールからカメラアングル設定を起動して設定できます (P. 39)。

3. カメラ設置後の詳細設定



設置後のカメラに対して、設置した環境に合わせた詳細設定を行います。

設定ページ

カメラごとに設定ページを表示して、詳細な設定ができます (P. 37)。

カメラの詳細設定を本ツールに読み込み、必要に応じて設定内容を変更できます。読み込んだ詳細設定はファイルやカメラに保存できます (P. 55)。

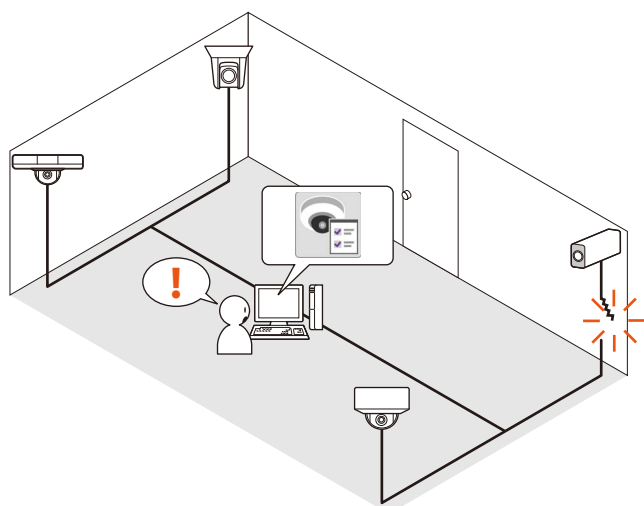
ビューワー

本ツールからビューワーを起動して、カメラを操作しながら映像を見ることができます (P. 38)。

ツール

プライバシーマスク設定やインテリジェント機能設定などのツールで、カメラの利用シーンに合わせた設定ができます (P. 39)。

4. カメラの管理



カメラ一覧に表示されている複数のカメラを一括管理できます。

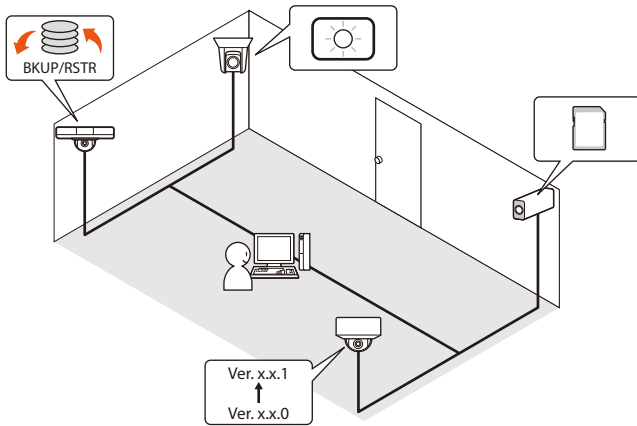
状態確認

現在どのカメラが正常に接続されているかなど、カメラの状態を一覧で確認できます (P. 21)。

フィルター

任意の文字列を指定して、カメラ一覧を絞り込み表示することで、目的のカメラをすばやく探し出すことができます (P. 23)。

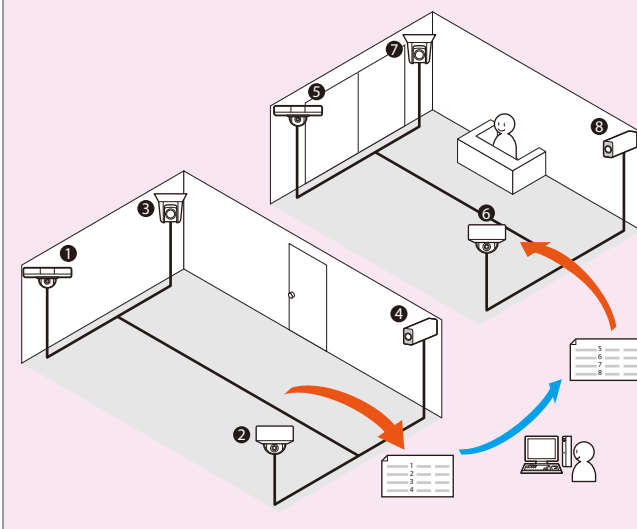
5. カメラのメンテナンス



運用中のカメラに対して、次のメンテナンスができます。メンテナンスは、複数のカメラに対してまとめて行うことができます。

- ファームウェアを更新する (P. 62)
- 設定値をバックアップする (P. 65)
- バックアップした設定値をリストアする (P. 67)
- メモリーカードを操作する (P. 69)
- 再起動する (P. 70)
- 初期設定に戻す (P. 71)
- ログをダウンロードする (P. 72)

カメラ指定ファイルによる応用



本ツールのカメラ一覧の内容は、カメラ指定ファイルとして保存できます (P. 42)。このファイルを利用して、次のような一歩進んだ使いかたが可能です。

- カメラ指定ファイルの内容を編集して、別の設置場所のカメラの初期設定をする。
- 256台を超えるカメラを管理する場合に、エリアなどの単位でカメラ指定ファイルを分けて保存しておき、切り替えながら使用する。

動作環境

製品に関する最新情報 (ファームウェアやソフトウェア、使用説明書、動作環境など) は、ホームページをご確認ください。

システム要件

カメラマネジメントツールの動作環境は次のとおりです。

CPU (推奨)	Intel Core i7-2600 以上
OS	Windows 10 64-bit Windows 11
OS言語	ドイツ語/英語/スペイン語/フランス語/イタリア語/ポーランド語/ロシア語/トルコ語/ タイ語/韓国語/中国語 (簡体字)/日本語
ソフトウェア (ランタイムライブラリ)	.NET Framework 4.6.2 以上

対応カメラ

対応カメラ	VB-H47、VB-M46、VB-S32VE、VB-S32D、VB-S820D、VB-S920F、ME20F-SHN、 VB-H45、VB-M44、VB-H730F Mk II、VB-S30D Mk II、VB-S31D Mk II、 VB-S800D Mk II、VB-S900F Mk II、VB-S805D Mk II、VB-S905F Mk II、 VB-H761LVE-H、VB-H751LE-H、VB-M741LE-H、VB-S30VE、VB-S800VE、 VB-S910F、VB-R13VE、VB-R13、VB-R12VE、VB-M50B、VB-H652LVE、 VB-H651VE、VB-H651V、VB-H761LVE、VB-H760VE、VB-H751LE、VB-R11VE*、 VB-R11*、VB-R10VE*、VB-M641VE*、VB-M641V*、VB-M640VE*、VB-M640V*、 VB-M741LE*、VB-M740E*
-------	---

* ファームウェア Ver1.1以降

メモ

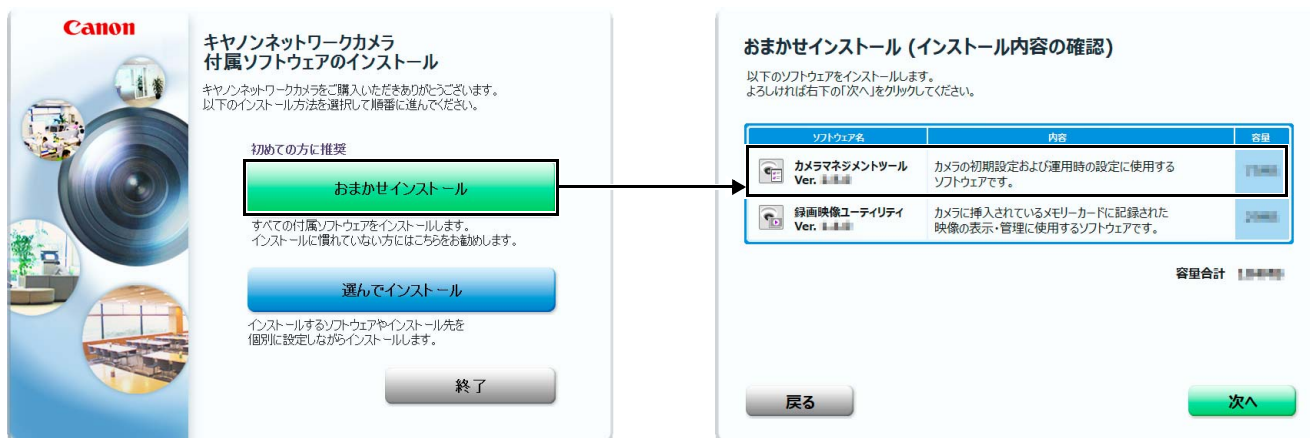
VB-H761LVE-H、VB-H751LE-H、VB-M741LE-Hは、本ツールではそれぞれVB-H761LVE、VB-H751LE、VB-M741LE と表示されます。

制限事項

- 本ツールを使用するときは、他のアプリケーションはすべて終了させてください。
- 本ツールは、カメラ用のファームウェアアップグレードツール、バックアップツール、リストアツール、メモリーカードアンマウントツールとは同時に使用できません。
- HTTPプロキシによる通信には対応しますが、実行するPCのネットワーク設定に依存します。
- HTTPプロキシ認証には対応していません。
- 本ツールでカメラと通信中は、スリープおよび休止モードには自動で移行しません。ただし、手動で行った場合には、通信中でもスリープ、休止に移行します。
- 新文字コード (第三水準漢字など) には対応していません。
- 本ツールの起動時に「このファイルを実行しますか?」というメッセージが表示される場合があります。[実行] をクリックしてツールの起動を続行してください。
- Windows ファイアウォールが有効になっている場合、本ツールがブロックされる可能性があります。この場合は許可されたプログラムとして本ツールを登録する必要があります。詳細はカメラの『操作ガイド』の「ファイアウォールの設定を確認する」を参照してください。
- ネットワークカードを複数使用して同一PCに複数の (AutolP以外の) IPv4アドレスが設定されている場合、正常に通信が行えない可能性があります。その場合、IPv4アドレスを一時的に1つにするか、カメラとIPv6で通信できるようにPCを設定する必要があります。
- サービスパックの適用やOSのアップデートを行うときは、キヤノンのホームページで最新の動作環境をご確認ください。

インストール

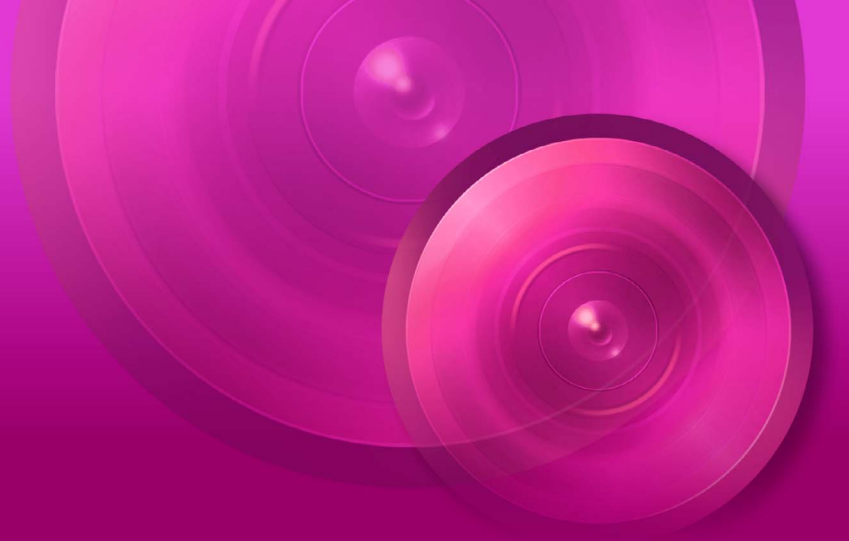
本ツールは、インストーラーからインストールします (インストーラー名 : VBToolsInstall.exe)。インストール方法の詳細は、カメラの『操作ガイド』を参照してください。



インストールが完了したら、デスクトップに本ツールのアイコンが表示されます。



2章



カメラの検出/設定

カメラの初期設定 (ネットワークに接続されたカメラを検出して基本的な設定を行うまで) について説明します。設定後にカメラの機能呼び出す方法についても説明します。

カメラマネジメントツールを起動する

PCにインストールした本ツールを起動して、カメラの設定を開始します。あらかじめ、カメラをネットワークに接続しておいてください。

起動する

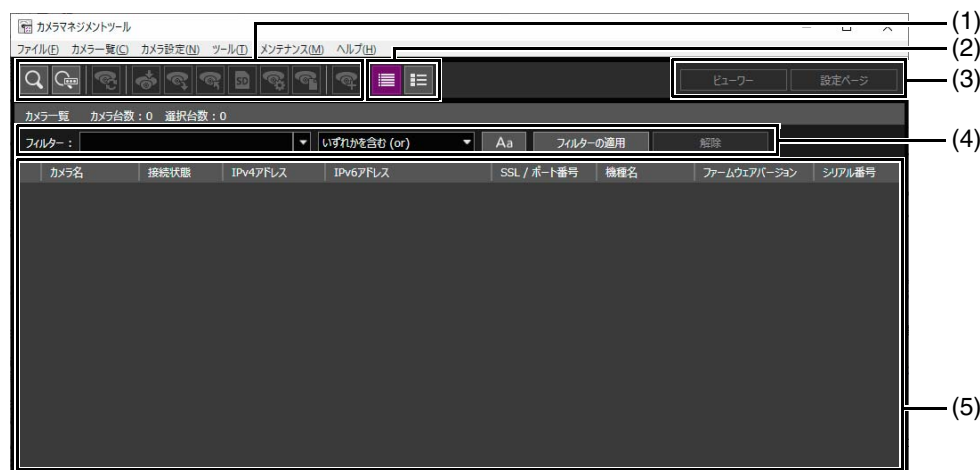
本ツールをインストールすると、デスクトップに [カメラマネジメントツール] のアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックすると、本ツールが起動し、メイン画面が表示されます。



メモ

Windowsファイアウォールが有効になっているPCで本ツールを使用するには、ファイアウォール経由での通信を許可するアプリケーションとして、本ツールを登録しておく必要があります。登録しなかった場合、本ツールを起動したときにファイアウォールによって本ツールがブロックされますが [はい] をクリックすると本ツールを起動できます。





メイン画面各部の名称



(1) ツールバー

次のボタンがあります。

ボタン	機能	説明
	カメラの検索	カメラを検出してカメラ一覧に追加します。
	カメラの追加	IPアドレスを指定してカメラを追加します (P. 50)。
	カメラの情報更新	選択したカメラの情報を更新します。
	ファームウェア更新	選択したカメラのファームウェアを更新します (P. 62)。
	設定値のバックアップ	選択したカメラの設定値をバックアップします (P. 65)。
	設定値のリストア	設定値のバックアップファイルを使ってカメラをリストアします (P. 67)。

ボタン	機能	説明
	メモリーカードの操作	カメラに挿入されたメモリーカードのマウント/アンマウント、情報取得を行います (P. 69)。
	カメラ基本設定	ネットワーク、管理者パスワード、日付と時刻、カメラ名、映像の設定など、カメラの基本設定を行います (P. 29)。
	カメラ詳細設定	カメラの詳細設定を行います (P. 55)。
	カメラ検出通知	ネットワークに新しく接続されたカメラを検出すると、ボタンが緑に変わります。この状態でクリックすると、検出されたカメラを一覧に追加できます (P. 19)。

(2) サムネイル表示切り替えボタン

サムネイル表示切り替えボタンでサムネイルの表示あり/なしを切り替えます。
カメラから取得した静止画を一覧で表示し、静止画の上にマウスを合わせると拡大表示になります (P. 22)。

(3) [ビューワー] / [設定ページ]

選択したカメラのビューワーまたは設定ページを表示します。初期設定が終わったカメラの映像をビューワーで確認したり、詳細な設定を設定ページで行うことができます (P. 37)。

(4) [フィルター]

任意の文字列を指定してカメラ一覧を絞り込み表示することで、目的のカメラをすばやく探し出します (P. 23)。

(5) カメラ一覧

検出されたカメラの情報を表示します。

カメラを検出する


ネットワークに接続されているカメラを検出し、メイン画面のカメラ一覧に表示します。工場出荷設定のカメラを検出した後、後から接続したカメラを自動的に検出してカメラ一覧に追加できます。

検索機能でカメラを検出する

本ツールがインストールされているPCと同じネットワークに接続されているカメラを検出し、本ツールのカメラ一覧に追加します。

メモ

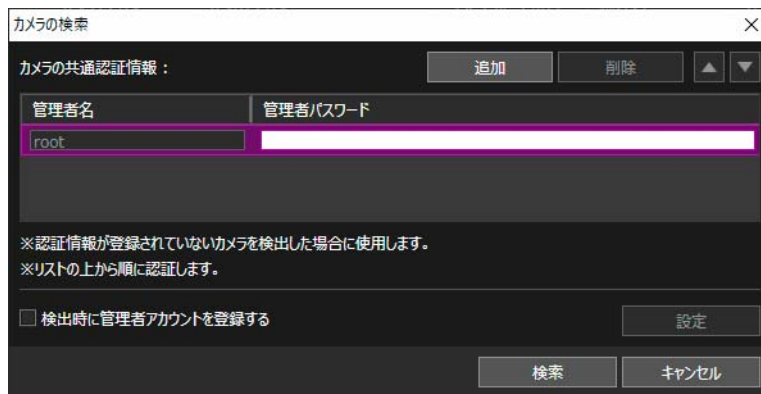
本ツールによるカメラの検出は、同じネットワークセグメント内のカメラに対してのみ有効です。異なるネットワークセグメントに接続されているカメラは、手動で追加する必要があります (P. 50)。

1 ツールバーの  をクリックするか、[カメラ一覧] > [カメラの検索] を選択する

2 必要に応じてカメラの共通認証情報を入力する

カメラを認証するための管理者名と管理者パスワードを入力します。検索時に共通で使用される認証情報として、最大3つまで設定できます。

何も入力せずに [検索] をクリックしてもカメラは検出されますが、後から認証が必要になります (P. 27)。



カメラの検索

カメラの共通認証情報： ▲ ▼

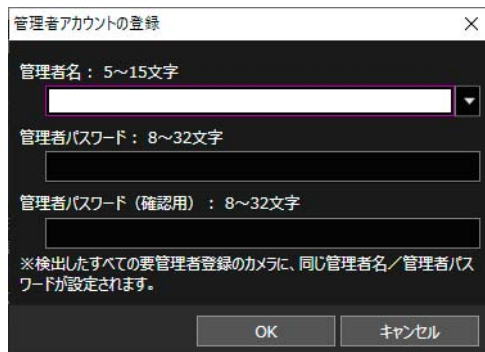
管理者名	管理者パスワード
root	

※認証情報が登録されていないカメラを検出した場合に使用します。
※リストの上から順に認証します。

検出時に管理者アカウントを登録する

3 工場出荷設定のカメラに対して管理者アカウントをカメラ検索時に登録する場合、[検出時に管理者アカウントを登録する] をチェックし、[設定] をクリックする

[管理者アカウントの登録] のダイアログが表示されるので設定します (P. 20)。



管理者アカウントの登録

管理者名： 5~15文字

管理者パスワード： 8~32文字

管理者パスワード（確認用）： 8~32文字

※検出したすべての要管理者登録のカメラに、同じ管理者名/管理者パスワードが設定されます。

重要

システムのセキュリティを確保するため、管理者パスワードは第三者に推測されにくいパスワードを設定してください。パスワードは忘れないようにしてください。

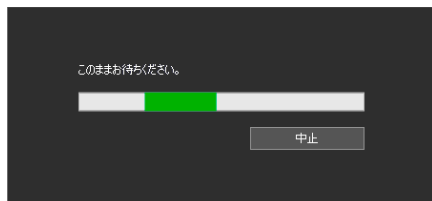
メモ

このダイアログで検出時に管理者アカウントを登録する場合は、次の点に注意してください。

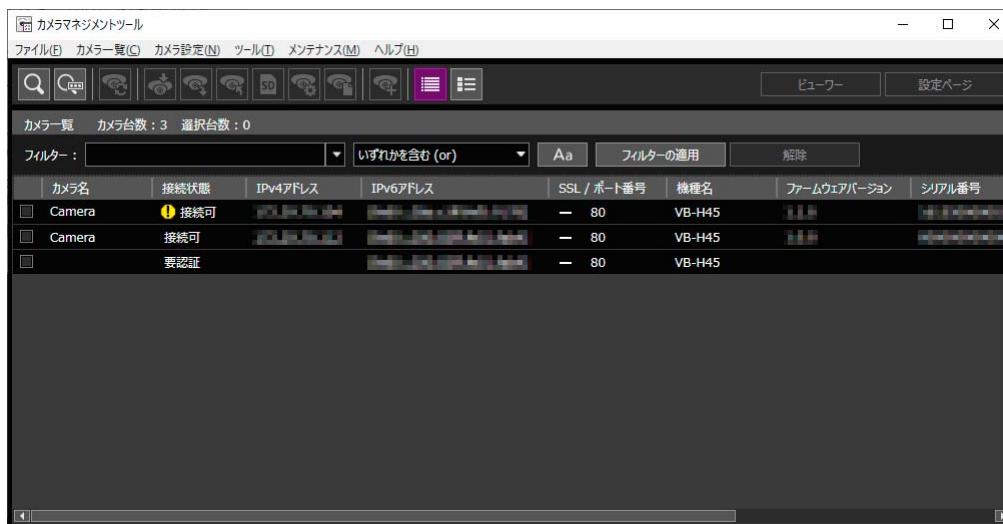
- 管理者アカウントを登録できるカメラに対してのみ有効です。お使いのカメラによっては、設定は無効になります。
- このダイアログでは、[管理者名] は5～15文字、[管理者パスワード] は8～32文字の範囲でのみ設定できます。
- カメラの機種やファームウェアバージョンによって、[管理者名] と [管理者パスワード] の設定可能な文字長は異なります。そのため、ダイアログでの設定が、設定可能な文字長の範囲外の場合は無効になります。設定可能な文字長は、「カメラの管理者アカウントについて」(P. 82) を参照してください。
- このダイアログから設定した場合、複数のカメラに対して、すべて同じ管理者アカウントになります（管理者名が固定のカメラは除く）。カメラごとに異なる [管理者名] と [管理者パスワード] にしたいときは、ここでは設定せず、検出後に管理者アカウントを登録してください。

4 [カメラの検索] ダイアログに戻り、[検索] をクリックする


検索中は次の画面が表示されます。[中止] をクリックすると検索を中止できます。




検索が終わると、その結果がカメラ一覧に表示されます。



メモ

- [検索時に管理者アカウントを登録する] のチェックを外した状態で検索し、管理者アカウントが未登録のカメラが検出された場合は、メッセージが表示されます。後から管理者アカウントを登録してください。
- 同じネットワークに接続しているにもかかわらず、カメラが検出されないときは、再度  をクリックして検索してください。また、カメラのIPアドレスを指定して検索することもできます。詳しくは、「IPアドレスを指定してカメラを検出する」(P. 50) を参照してください。

■ 後から接続したカメラを追加する

[カメラの検索] をした後に同じネットワークに接続したカメラを、自動的に検出します。このとき、ツールバーの  が緑で表示されます。また、ボタンにマウスオーバーすると、見つかったカメラの台数が表示されます。






1 ツールバーの をクリックする

検出されたカメラの追加を確認するメッセージが表示されます。

2 [はい] をクリックする

自動検出されたすべてのカメラが、カメラ一覧に追加されます。

検出されたカメラを追加した場合、カメラ一覧の最大数256台を超えた時点でエラーメッセージが表示されます。カメラ一覧が最大数に達したために追加できなかったカメラがあった場合、 は緑のままとなります。 を実行すると、検出あり状態が解除され、ボタンの表示は  に戻ります。

メモ

カメラ一覧に追加できるのは256台までです。追加時に上限台数 (256台) を超える場合は、カメラ一覧からカメラを削除する (P. 25) までカメラの追加はできません。

管理者アカウントを登録する

管理者アカウントの登録は、カメラ一覧の [接続状態] が [要管理者登録] のカメラに対して設定します。

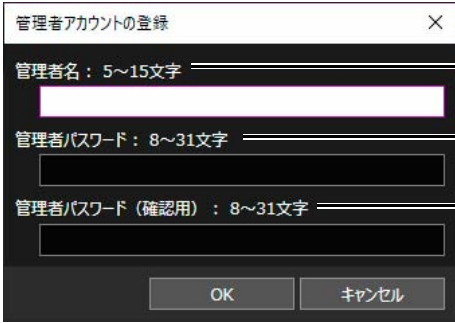
メモ

カメラ一覧の [接続状態] が [要管理者登録] のカメラは、管理者アカウントを登録した後、カメラの基本設定や詳細設定などが使用できません。

1 カメラ一覧で [接続状態] が [要管理者登録] のカメラを選択する

2 [カメラ設定] > [管理者アカウントの登録] を選択する または、[接続状態] の [要管理者登録] をダブルクリックする

[管理者アカウントの登録] のダイアログが表示されます。



管理者アカウントの登録

管理者名: 5~15文字 (1)

管理者パスワード: 8~31文字 (2)

管理者パスワード (確認用): 8~31文字 (3)

OK キャンセル

(1) [管理者名]
管理者名は、半角英数字と“-” “_”のみ入力できます。

(2) [管理者パスワード]
管理者パスワードを入力します。

(3) [管理者パスワード (確認用)]
確認用に管理者パスワードを再度入力します。

3 [OK] をクリックする

管理者アカウントが登録され、カメラが再起動します。


メモ

お使いの機種やファームウェアバージョンにより、[管理者名] と [管理者パスワード] の入力できる文字長が異なります。また、設定可能な文字長が異なるカメラを複数選択しているときは入力できません。設定可能な文字長は、「カメラの管理者アカウントについて」(P. 82) を参照してください。

カメラ一覧を参照する

カメラ一覧には、検出されたカメラの情報が表示されます。カメラの状態を確認したり、設定や操作の対象にするカメラを選択します。

メモ

カメラの情報は自動で更新されません。最新情報を得るには、カメラを選択し、 (カメラの情報更新) をクリックしてください。

■ カメラの状態を確認する

カメラ一覧の [接続状態] に、カメラの状態が表示されます。

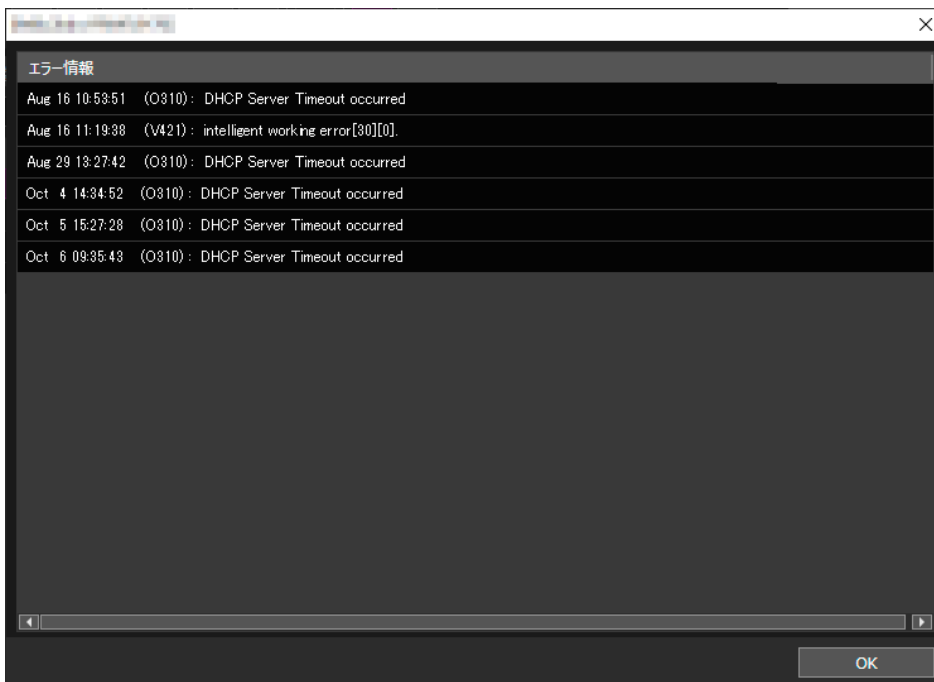


カメラ名	接続状態	IPv4アドレス	IPv6アドレス	SSL / ポート番号	機種名	ファームウェアバージョン	シリアル番号	MACアドレス	最近行った操作	備考
Camera	⚠️ 接続可			80	VB-S30VE					
Camera	❌ 接続不可			80	VB-S30VE					
	要認証			80	VB-S30VE					
	要管理者登録			80	VB-S30VE					
Camera	✅ 接続可			443	VB-S30VE					
Camera	✅ 接続可			443	VB-S30VE					

接続状態	説明
接続可	ネットワークに正常に接続している
⚠️ 接続可	ネットワークに接続しているがエラーが発生している
❌ 接続不可	ネットワークに接続していない
要認証	接続はしているが認証が必要 (設定されている管理者名/パスワードでは認証できない)
要管理者登録	接続はしているが管理者アカウントの登録が必要

[⚠️ 接続可]

[接続状態] の [⚠️ 接続可] をダブルクリックするか、そのカメラを選択してから [カメラ一覧] > [カメラのエラー情報を開く] を選択すると、エラー情報ダイアログが表示され、エラーの詳細を確認できます。



エラー情報
Aug 16 10:53:51 (O310): DHCP Server Timeout occurred
Aug 16 11:19:38 (V421): intelligent working error[30][0].
Aug 29 13:27:42 (O310): DHCP Server Timeout occurred
Oct 4 14:34:52 (O310): DHCP Server Timeout occurred
Oct 5 15:27:28 (O310): DHCP Server Timeout occurred
Oct 6 09:35:43 (O310): DHCP Server Timeout occurred


メモ

エラー情報の詳細は、カメラの『操作ガイド』の「ログメッセージ一覧」を参照してください。なお、お使いの機種によっては、エラー情報ダイアログは表示されません。

[接続不可]、[要認証]

[接続状態] の [接続不可] または [要認証] をダブルクリックすると、カメラの認証情報画面が表示され、設定できません (P. 28)。

メモ




カメラの再起動がされた後など、カメラの処理が終わっても [接続不可] と表示されている場合は、 (カメラの情報更新) をクリックしてみてください。

[要管理者登録]

[接続状態] の [要管理者登録] をダブルクリックすると、管理者アカウントの登録画面が表示され、設定できます (P. 20)。

■ SSL/ポート番号

SSL通信でカメラに接続した場合、カメラとの通信に使用するポート番号とその状態に応じた3種類のアイコンが表示されます。アイコンの表示により、SSL通信の使用有無や自己証明書に問題がないか確認ができます。

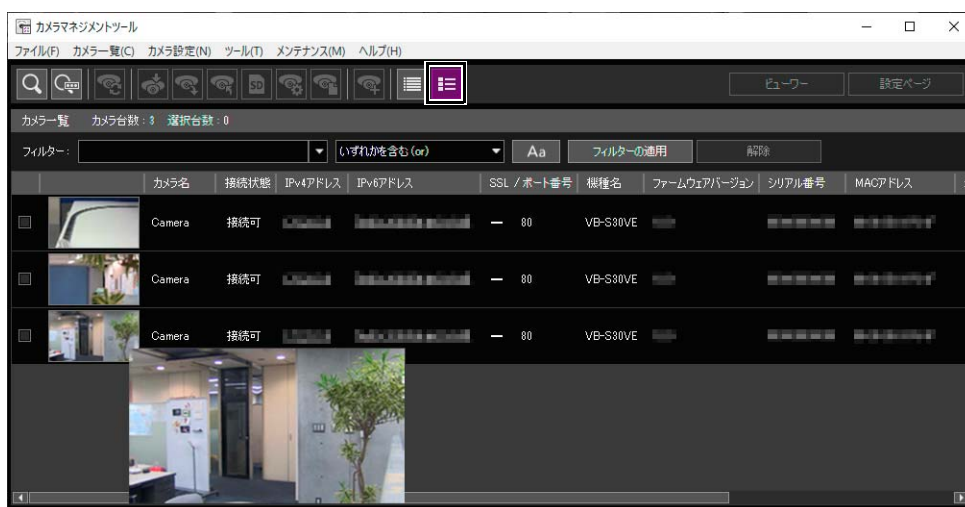
-  非SSL通信
-  SSL通信 (証明書問題なし)
-  SSL通信 (証明書問題あり)



メモ

本ツールでは、SSL通信でカメラに接続した場合、SSL通信の確認をIPv4アドレスで行います。IPv4以外の証明書を使用している場合は、SSL通信 (証明書問題あり) のアイコンが表示されます。

■ サムネイルを表示する

サムネイル表示切り替えボタンで、カメラから取得した静止画を、サムネイル表示します。サムネイルの上にマウスを合わせると拡大表示になります。



-  サムネイル表示なし
-  サムネイル表示あり

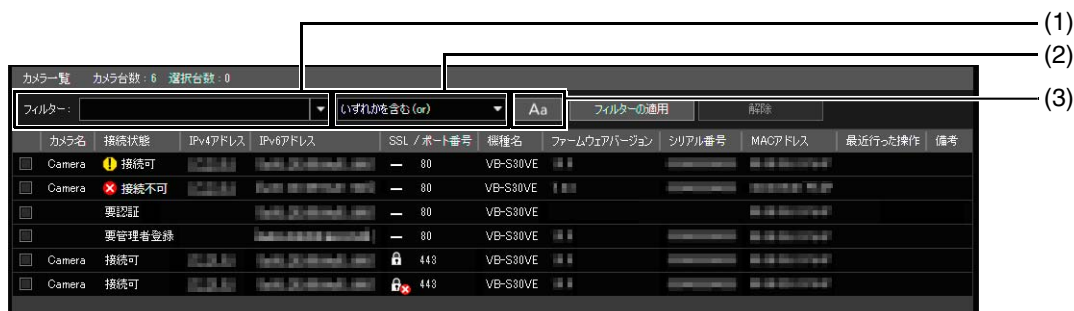
メモ

[接続状態] が [接続可] または [! 接続可] のカメラのみ、サムネイルを表示できます。ただし、接続先のカメラがパノラマ画像作成中、カメラアングル設定中の場合は、サムネイルを表示できません。

カメラ一覧を絞り込む

IPアドレスやカメラの接続状態など、カメラ一覧に表示されている項目で文字列を検索し、目的のカメラを絞り込みます。

1 [フィルター] に絞り込み条件を入力し、一致条件をプルダウンから選択する



(1) [フィルター]

検索する文字列を、1024文字まで入力できます。
複数の文字列を検索するときは、スペースで区切って入力します。
また、IPv4アドレスで検索するときは、「192.168.100.1-192.168.100.20」のように範囲指定ができます。
なお、フィルターを適用した文字列は、新しい順に10個まで保存できます。

(2) 一致条件

[フィルター] で指定した文字列の絞り込み条件を選択します。

- [いずれかを含む (or)] スペースで区切られた複数の文字列のうち、いずれかの文字を含むカメラに絞り込みます。
- [すべて含む (and)] スペースで区切られた複数の文字列を、すべて含むカメラを絞り込みます。
- [完全一致] スペースの区切りとは関係なく、[フィルター] で入力した文字列と完全に一致するカメラを絞り込みます。

(3) Aa

[フィルター] で指定した文字列の、大文字と小文字を区別します。

Aa 大文字と小文字を区別しません。

Aa 大文字と小文字を区別します。

2 [フィルターの適用] をクリックする

指定した絞り込み条件が適用され、カメラ一覧が絞り込み表示されます。
絞り込み表示を解除するには、[解除] をクリックします。指定した絞り込み条件がクリアされ、カメラ一覧にすべてのカメラが表示されます。

メモ

一度 [フィルターの適用] で絞り込んだカメラに対し、さらにフィルターを適用して絞り込むことはできません。[フィルターの適用] は、常に、フィルターで絞り込む前にカメラ一覧に表示されている全カメラに対して行われます。

カメラ一覧での操作

■ カメラを選択する

設定または操作の対象にするカメラを選択するときは、カメラ一覧に表示されているカメラをクリックします。選択中のカメラの行は、先頭のチェックボックスがチェックされ、行が反転表示します。先頭のチェックボックスをチェックしたり、Ctrl キーやShift キーを併用することで、複数のカメラが選択できます。

■ カメラ一覧の並び順を変更する

カメラ一覧の各項目のタイトルをクリックすることにより、一覧が昇順または降順に並び替えられます。また、タイトル項目をクリックし、目的の位置までドラッグして、表示項目の左右の順番を入れ替えることができます。



カメラ名	接続状態	IPv4アドレス	IPv6アドレス	SSL / ポート番号	機種名	ファームウェアバージョン	シリアル番号	MACアドレス	最近行った操作	備考
Camera	接続可			80	VB-S30VE					
Camera	接続不可			80	VB-S30VE					
	要認証			80	VB-S30VE					
	要管理者登録			80	VB-S30VE					
Camera	接続可			443	VB-S30VE					
Camera	接続可			443	VB-S30VE					

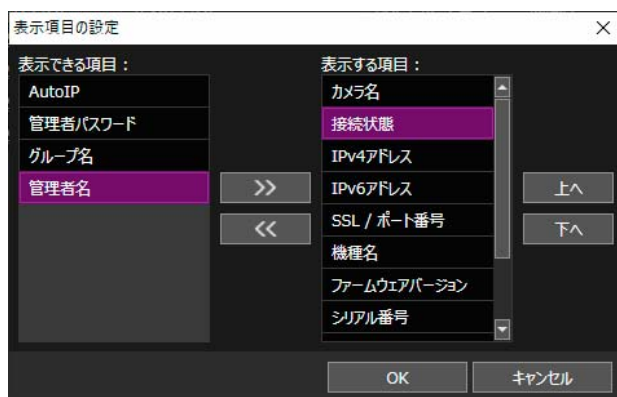
■ 表示する項目を変更する

カメラ一覧に表示する項目を選択したり、順番を入れ替えることができます。

1 [カメラ一覧] > [表示項目の設定] を選択する

[表示項目の設定] ダイアログが表示されます。

2 表示または非表示にする項目を指定する



非表示になっている項目を表示するには、[表示できる項目] で項目を選択してから **>>** をクリックします。表示されている項目を非表示にするには、[表示する項目] で項目を選択してから **<<** をクリックします。[表示する項目] で項目を選択してから [上へ]、[下へ] をクリックすると、並び順を変更できます。

3 [OK] をクリックする

表示項目は、カメラ一覧のタイトル部の操作でも変更できます。

- タイトル部を右クリックして、表示したい項目のチェックボックスをチェックします。表示しない項目は、チェックボックスのチェックを外します。

■ 備考またはグループ名を設定する

カメラ一覧に表示されているカメラに、任意のグループ名を付けたり、備考としてメモを入力できます。扱うカメラの台数が増えてきた場合など、[備考] や [グループ名] を使用して、ソートを行ったり、カメラを判別しやすくしたりできます。

選択したカメラの表示項目の [備考] または [グループ名] をクリックすると、入力欄が表示されます。内容を入力して Enter キーを押します。

🗨️ メモ

- [備考] と [グループ名] のどちらの入力欄にも、259文字まで入力できます。
- [グループ名] はデフォルトでは表示されません。グループ名を設定するときは、[表示項目の設定] ダイアログで [グループ名] をカメラ一覧に表示する項目として選択してください (P. 24)。
- [備考]、[グループ名] に入力しても、次の場合は次回起動時に入力した内容がカメラ一覧に表示されません。
 - [備考]、[グループ名] に入力後、カメラ指定ファイルを保存しなかった場合 (P. 42)
 - [備考]、[グループ名] に入力後、保存したカメラ指定ファイルを、次回起動時に読み込まなかった場合 (P. 47)

■ カメラをカメラ一覧から削除する

カメラ一覧から削除したいカメラがあるときは、次の手順で削除できます。

1 カメラ一覧で削除したいカメラを選択する

2 [カメラ一覧] > [カメラの削除] を選択する または Delete キーを押す

カメラの削除を確認するメッセージが表示されます。

3 [はい] をクリックする

カメラがカメラ一覧から削除されます。

■ カメラ一覧の右クリック操作

カメラ一覧を右クリックすると、表示されるメニューで次の操作ができます。

🗨️ メモ

カメラの [接続状態] や機種に応じて、操作できない項目はグレー表示されます。

メニュー名	説明
カメラの情報更新	選択したカメラの設定を再取得し、内容を更新します。
カメラの認証	本ツールで使用しているカメラの認証情報を変更します (P. 28)。
カメラの削除	選択したカメラをカメラ一覧から削除します (P. 25)。
カメラのエラー情報を開く	選択したカメラのエラー情報を表示します (P. 21)。
カメラ設定	<ul style="list-style-type: none"> • 設定ページを開く (P. 37) • カメラ基本設定 (P. 29) • カメラ詳細設定 (P. 55) • 管理者アカウントの登録 (P. 20)
ツール	選択したカメラのツールを呼び出します (P. 39)。

メニュー名	説明
メンテナンス	<ul style="list-style-type: none">• カメラの再起動 (P. 70)• カメラを初期設定に戻す (P. 71)• ログのダウンロード (P. 72)• メモリーカードの操作 (P. 69)• ソフトウェア更新 (P. 62)• 設定値のバックアップ (P. 65)• 設定値のリストア (P. 67)• 信頼済みサイトへの追加 (P. 37)

カメラを認証する

カメラの検索時に共通認証情報で認証できなかったカメラ (P. 18) は、後から認証ができます。認証には、共通認証情報を使うことも、個別に管理者名、管理者パスワードの指定もできます。

管理者名と管理者パスワードは、[カメラ設定] > [カメラ基本設定] > [管理者アカウント] (P. 32) または [カメラ設定] > [管理者アカウントの登録] (P. 20) で設定したものです。

共通認証情報の設定

カメラの共通認証情報を設定します。共通認証情報とは、カメラを認証するために必要となる情報（管理者名と管理者パスワード）を指します。複数のカメラで共通の管理者名/管理者パスワードを設定していると、一斉に認証できます。

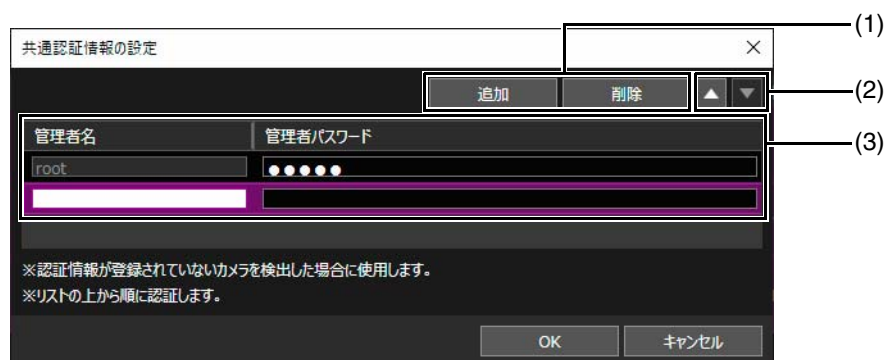
1 [カメラ一覧] > [共通認証情報の設定] を選択する

[共通認証情報の設定] ダイアログが表示されます。

2 各項目を入力する

メモ

共通認証情報の設定は、[カメラ一覧] > [カメラの検索] の [カメラの共通認証情報] と共通です。いずれかを設定すると、もう一方にも反映されます。



(1) [追加]、[削除]

認証情報欄に認証情報を追加したり、削除します。
カメラの共通認証情報は、最大3つまで設定できます。

(2) [▲]、[▼]

カメラの共通認証情報の優先順位を変更します。

(3) 共通認証情報一覧

認証するカメラの [管理者名] と [管理者パスワード] を入力します。

メモ

1行目の管理者名 [root] は変更および削除できません。

3 [OK] をクリックする

メモ

[共通認証情報の設定] で指定した内容は、本ツールを起動している間は保持されます。本ツールの終了後、次回起動後にも使用したいときは、カメラ一覧をファイル (カメラ指定ファイル) として保存し、それを読み込みます (P. 42)。

検出後にカメラを認証する

カメラ一覧の [接続状態] が [要認証] または [接続不可] と表示されているカメラは、認証が必要です。認証が完了しないと、本ツールからカメラを設定することができません。

- 1 カメラ一覧で、個別に認証情報を設定したいカメラを選択する
- 2 [カメラ一覧] > [カメラの認証] を選択する
または、[接続状態] の [接続不可] または [要認証] をダブルクリックする
[カメラの認証] ダイアログが表示されます。
- 3 各項目を入力する

- (1) [管理者名]
カメラの管理者名を入力します。[共通認証情報で認証する] をチェックしたときは、グレー表示され入力できません。
- (2) [管理者パスワード]
カメラの管理者パスワードを入力します。[共通認証情報で認証する] をチェックしたときは、グレー表示され入力できません。
- (3) [共通認証情報で認証する]
共通認証情報 (P. 27) で認証するときは、このチェックボックスをチェックします。チェックした場合、上記 (1) (2) で設定した管理者名と管理者パスワードは破棄されます。
- (4) [SSL通信を使用する]
SSL通信でカメラに接続する場合にチェックします。[SSL通信を使用する] をチェックすると、自己証明書の確認を行います。自己証明書に問題があり、一度も接続されていないカメラを認証した場合は、メッセージが表示されます。
- (5) ポート番号入力欄
カメラの接続時に使用するポート番号を指定します。通常はデフォルトのままにします。

4 [OK] をクリックする

メモ

カメラが共通認証情報と [カメラの認証] ダイアログで指定したパスワードのどちらで認証されているかは、カメラ一覧の [管理者パスワード] で確認できます。

パスワードを共通認証情報で認証したカメラは [管理者パスワード] に [共通] と表示され、[カメラの認証] ダイアログでパスワードを指定して認証したカメラは [管理者パスワード] に [***] と表示されます。

[管理者パスワード] はデフォルトでは非表示になっています。カメラ一覧に表示するには、[表示項目の設定] ダイアログで設定を変更します (P. 24)。

カメラ基本設定

検出したカメラに対して、ネットワーク設定 (IPアドレス) や管理者パスワードの変更、カメラ名、日付・時刻、映像設定などの基本的な設定を行います。

基本設定はどの機種にも共通の内容ですので、複数のカメラに対して一度にまとめて同じ設定を適用できます。

メモ

- [カメラ基本設定] は、カメラの設定ページの一部に対して適用されるので、[カメラ基本設定] を実行すると、カメラの設定ページの設定内容も変更されます。
- [カメラ基本設定] で表示される選択項目は、お使いのカメラ機種によって異なる箇所があります。
- 2種類以上の異なる機種を設定している場合は、機種共通の項目のみまとめて設定できます。

[カメラ基本設定] ダイアログを開く

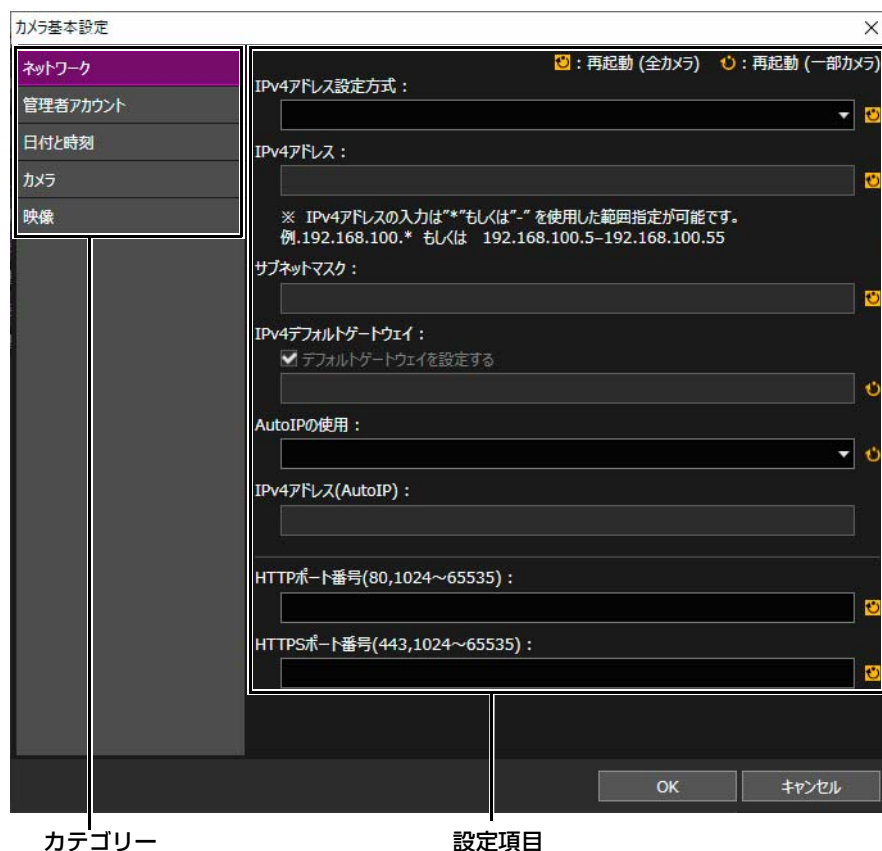
1 カメラ一覧で、基本設定を適用するカメラを選択する

2 ツールバーの をクリックする または、[カメラ設定] > [カメラ基本設定] を選択する

[カメラ基本設定] ダイアログが表示されます。

3 カテゴリーごとに設定する

ダイアログの左側に表示されているカテゴリーをクリックすると、右側に設定項目が表示されます。表示される設定項目を入力します。



手順1でカメラを1台のみ選択した場合は、設定項目に現在のカメラの設定値が表示されます。
手順1でカメラを複数選択した場合は、すべての設定項目が空欄になります。

メモ

一部の設定項目は、設定値を空欄にできます。この場合、カメラの設定値は変更されず元のまま保持されます。

4 [OK] をクリックする

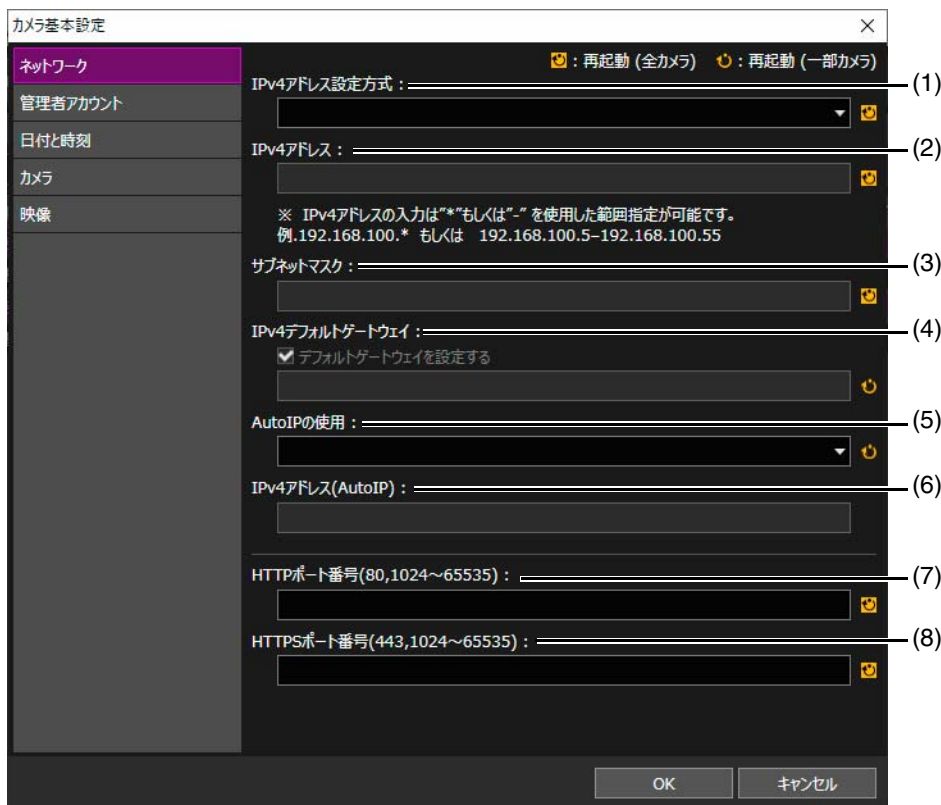
メモ

[映像] カテゴリの [映像サイズセット]、[管理者アカウント] カテゴリの [管理者名]、および [ネットワーク] カテゴリの中の項目によっては、設定を変更して [OK] をクリックした後で、プログレスバーが表示されてからカメラが自動的に再起動します。[カメラの設定が完了しました。カメラの再起動をお待ちください。] とメッセージが表示されるので、[OK] をクリックしてください。



カメラの再起動が完了しても、そのカメラの [接続状態] が [接続不可] のままの場合があります。 (カメラの情報更新) をクリックしてみてください。

[カメラ基本設定] ダイアログの設定内容

■ ネットワーク



カメラ基本設定


ネットワーク  :再起動 (全カメラ)  :再起動 (一部カメラ)


管理者アカウント

日付と時刻


カメラ


映像

IPv4アドレス設定方式 :  (1)


IPv4アドレス :  (2)


※ IPv4アドレスの入力は"*"もしくは"- "を使用した範囲指定が可能です。
例.192.168.100.* もしくは 192.168.100.5-192.168.100.55


サブネットマスク :  (3)


IPv4デフォルトゲートウェイ :  (4)

デフォルトゲートウェイを設定する

AutoIPの使用 :  (5)

IPv4アドレス(AutoIP) :  (6)

HTTPポート番号(80,1024~65535) :  (7)

HTTPSポート番号(443,1024~65535) :  (8)

OK キャンセル

重要

ネットワーク設定に誤りがあると、カメラにアクセスできなくなることがあります。この場合はカメラを初期設定に戻す (ネットワーク設定を含む) (P. 71) または、カメラの『操作ガイド』を参照してカメラを工場出荷設定に戻してから、本ツールでネットワーク設定をし直してください。ただし、カメラの管理者アカウント・ネットワーク情報・時刻情報も含めたすべての設定が工場出荷設定に戻りますので、本ツールを使ってカメラの初期設定から行う必要があります。

(1) [IPv4アドレス設定方式]

IPv4アドレスの設定方式を選択します。

[マニュアル設定] の場合は、[IPv4アドレス] に固定のIPv4アドレスを入力します。

[自動設定 (DHCP)] の場合は、[IPv4アドレス]、[サブネットマスク]、[IPv4デフォルトゲートウェイ] にDHCPサーバーから取得した値が自動的に設定されます。

重要

IPv4アドレス設定を [自動設定 (DHCP)] で使用する場合、DHCPサーバーとカメラの間にルーターがあるような環境では、IPv4アドレスが正しく割り振られない場合があります。その場合は、[マニュアル設定] を選択して固定のIPv4アドレスを設定してください。

(2) [IPv4アドレス]

[IPv4アドレス設定方式] が [マニュアル設定] の場合、固定のIPv4アドレスを入力します。

複数のカメラを選択して基本設定を行っているときは、次の指定文字を記述することで、IPv4アドレスのワイルドカード指定または範囲指定ができます。

指定文字	説明	例
*	ワイルドカード。IPアドレスの第3、第4オクテットに対して指定可。	192.168.100.* → 192.168.100.1から 192.168.100.254まで
-	数字と数字の間に記述して範囲を指定。	192.168.100.100- 192.168.100.150 → 192.168.100.100から 192.168.100.150まで

重要

- ワイルドカード指定または範囲指定でIPアドレス設定を行う場合は、カメラ一覧にすでに存在するIPv4アドレスは設定に使用されません。
- ワイルドカード指定または範囲指定の範囲内に空きIPアドレスが存在しない場合、設定は行われません。

(3) [サブネットマスク]

[IPv4アドレス設定方式] が [マニュアル設定] の場合、ネットワークごとに指定されたサブネットマスク値を入力します。

(4) [IPv4デフォルトゲートウェイ]

[IPv4アドレス設定方式] が [マニュアル設定] の場合に、カメラをPCと異なるサブネットに接続するときは、[デフォルトゲートウェイを設定する] をチェックし、IPv4デフォルトゲートウェイアドレスを入力します。

(5) [AutoIPの使用]

AutoIPに対応しているカメラを選択している場合に、AutoIPの使用の有無を選択します。

(6) [IPv4アドレス (AutoIP)]

[AutoIPの使用] が [使用する] の場合、自動的に設定されたIPアドレスが表示されます。

(7) [HTTPポート番号]

HTTPポート番号を入力します。

通常は、「80」(工場出荷設定) を使用します。

(8) [HTTPSポート番号]

HTTPSポート番号を入力します。

通常は、「443」(工場出荷設定) を使用します。

■ 管理者アカウント

カメラ基本設定

ネットワーク : 再起動 (全カメラ) : 再起動 (一部カメラ)

管理者アカウント

管理者名: 5~15文字 (1)

管理者パスワード: 8~31文字 (2)

管理者パスワード (確認用): 8~31文字 (3)

OK キャンセル

管理者名と管理者パスワードを変更します。

(1) [管理者名]

管理者名を変更します。お使いのカメラによっては、管理者名がグレー表示され変更できません。

(2) [管理者パスワード]

管理者パスワードをASCII文字 (スペースまたは印字可能文字) で入力します。

(3) [管理者パスワード (確認用)]

上と同じパスワードを確認のため入力します。

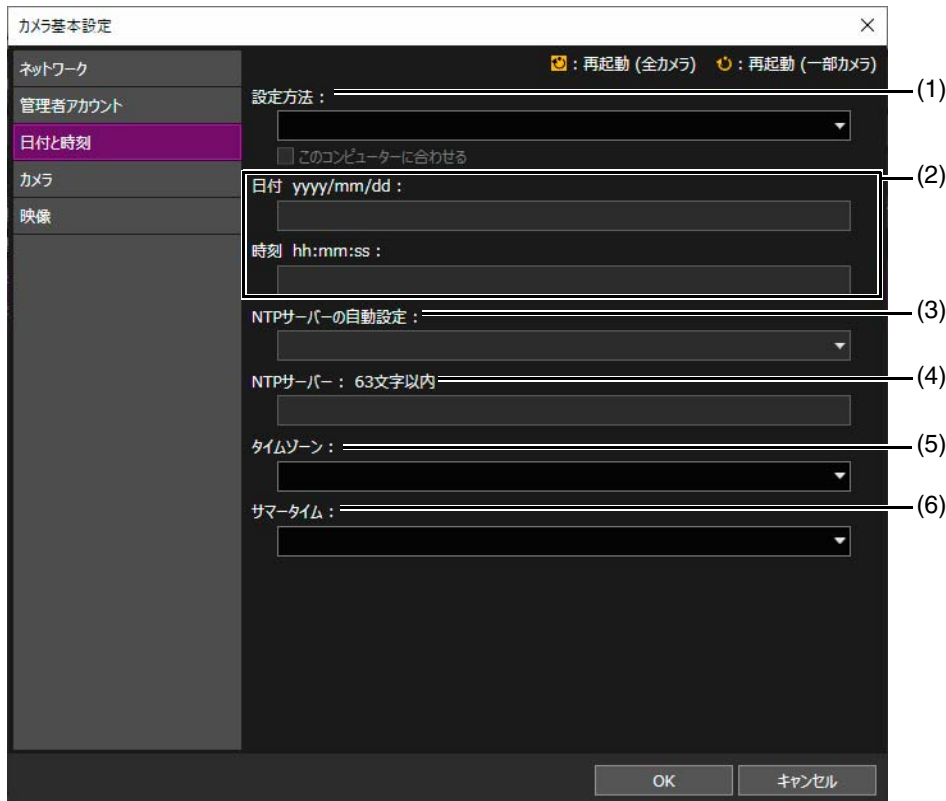
重要

- システムのセキュリティを確保するため、管理者パスワードは第三者に推測されにくいパスワードを設定してください。パスワードは忘れないようにしてください。
- 管理者パスワードを忘れてしまった場合は、カメラを初期設定に戻す (ネットワーク設定を含む) (P. 71) または、カメラの『操作ガイド』を参照して、カメラを工場出荷設定に戻してください。この場合、カメラの管理者アカウント・ネットワーク情報・時刻情報も含めたすべての設定が工場出荷設定に戻りますので、本ツールを使ってカメラの初期設定から行う必要があります。
- ビューワーを接続している場合は、接続を終了してからパスワードを変更してください。

メモ

お使いの機種やファームウェアバージョンにより、[管理者名] と [管理者パスワード] の入力できる文字長が異なります。また、設定可能な文字長が異なるカメラを複数選択しているときは入力できません。設定可能な文字長は、「カメラの管理者アカウントについて」(P. 82) を参照してください。

■ 日付と時刻



(1) [設定方法]

日付と時刻の設定方法を選択します。

(2) [日付]、[時刻]

[設定方法] の設定によって、次のように設定します。

[手動で設定する] を選択した場合

任意の日付と時刻を設定できます。

時刻は24時間制で<時:分:秒>の順に入力します。

[手動で設定する] を選択し、[このコンピューターに合わせる] をチェックした場合

日付と時刻を、現在カメラにアクセスしているコンピューターに合わせます。

[タイムゾーン] は自動的に選択されませんので、必要に応じて別途設定を行ってください。

[NTPサーバーに合わせる] を選択した場合

[NTPサーバーの自動設定] で、設定方法を選択します。

[NTPブロードキャストモードを使用する] を選択した場合

NTPサーバーが送信したNTPブロードキャストを受信して時刻を合わせます。

カメラのNTPブロードキャストモードは、IPv6に対応していません。

(3) [NTPサーバーの自動設定]

[使用しない]

[NTPサーバー] に、NTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

[DHCPを使用する]

DHCPサーバー (IPv4) からNTPサーバーのアドレスを自動的に取得します。

設定するには、[ネットワーク] > [IPv4アドレス設定方式] を [自動設定 (DHCP)] にする必要があります (P. 30)。

[DHCPv6を使用する]

DHCPv6サーバーからNTPサーバーのアドレスを自動的に取得します。

この設定を有効にするには、カメラの設定ページで [IPv6] に関する設定をする必要があります。設定ページの詳細は、カメラの『操作ガイド』を参照してください。

[DHCP/DHCPv6を使用する]

DHCPサーバー (IPv4) またはDHCPv6サーバーのアドレスを自動的に取得します。

メモ

- NTPサーバーのIPアドレスが正しくないなど、NTPサーバーに接続できない場合は、日付と時刻は変更されません。
- NTPサーバーへの問い合わせ間隔は300秒です。お使いの機種によっては、カメラの設定ページで問い合わせ間隔を設定できます。カメラの時刻とNTPサーバーの時刻の差が大きい場合は、同期に時間がかかります。

(4) [NTPサーバー]

[NTPサーバーの自動設定] で [使用しない] を選択した場合に、NTPサーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。

(5) [タイムゾーン]

グリニッジ標準時との時差を選択します。

タイムゾーンを変更すると、指定したタイムゾーンに合わせて、日付と時刻の表示を自動的に変更します。

(6) [サマータイム]

サマータイムを、タイムゾーンに合わせて自動調整するかしないかを選択します。

カメラ

カメラ基本設定

再起動 (全カメラ) 再起動 (一部カメラ)

ネットワーク

管理者アカウント

日付と時刻

カメラ

映像

カメラ名 (半角英数字) : 15文字以内

カメラ名 (日本語) : 15文字以内

OK キャンセル

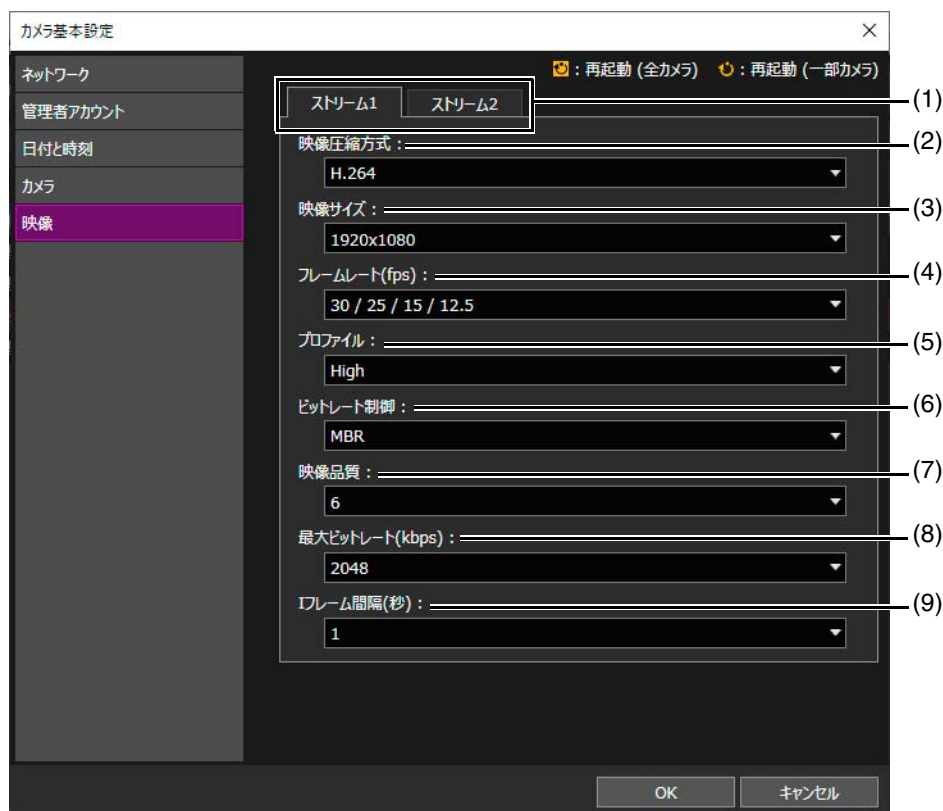
[カメラ名]

任意のカメラ名を入力します。

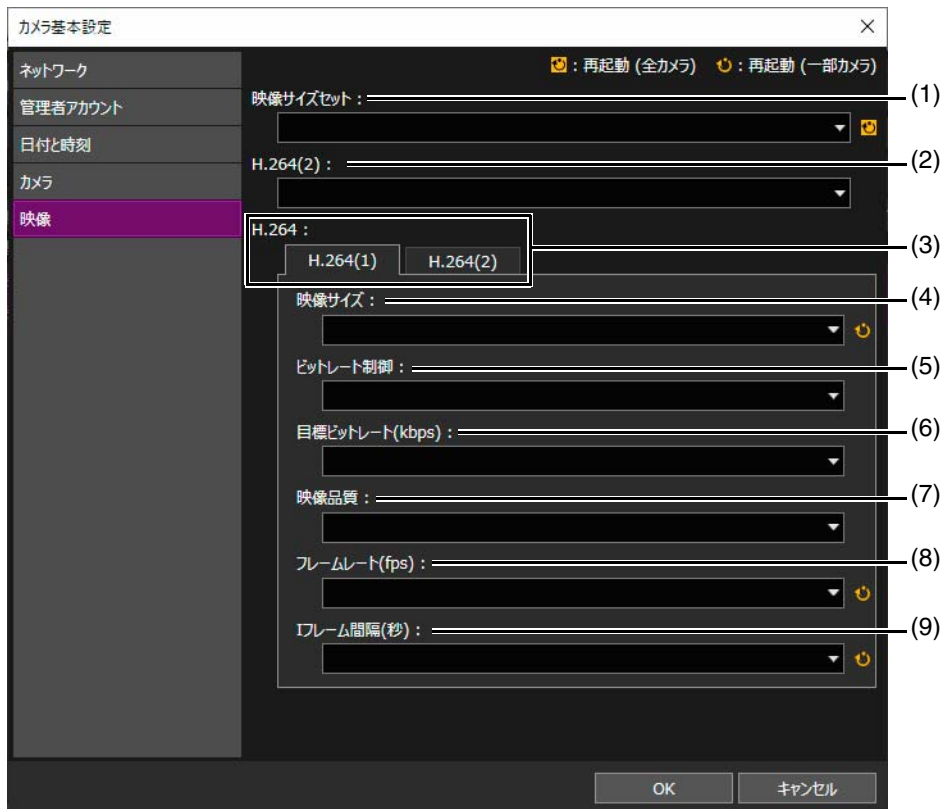
複数のカメラを選択していたときは、同じカメラ名が適用されます。

映像

お使いの機種によって、次の画面のどちらかが表示されます。



- (1) **[ストリーム1]、[ストリーム2]**
カメラからビューワーに送信するストリーム1とストリーム2の映像について、それぞれのタブで設定します。
- (2) **[映像圧縮方式]**
映像コーデックの種類を選択します。ストリーム1での設定はストリーム2にも反映されます。
- (3) **[映像サイズ]**
カメラから送信する映像サイズを選択します。ストリーム2では、[1920x1080] は設定できません。
- (4) **[フレームレート]**
映像のフレームレートを選択します。
- (5) **[プロファイル]**
[映像圧縮方式] が [H.264] の場合に、映像のプロファイルを選択します。
- (6) **[ビットレート制御]**
映像のビットレートについて設定します。
[VBR] を選択したときは、[映像品質] を設定します。
[MBR] を選択したときは、[映像品質] と [最大ビットレート] を設定します。
[CBR] を選択したときは、[目標ビットレート] を設定します。
- (7) **[映像品質]**
[ビットレート制御] が [VBR] または [MBR] の場合、映像の品質を選択します。
- (8) **[最大ビットレート] / [目標ビットレート]**
[ビットレート制御] が [MBR] の場合、最大ビットレートを選択できます。
[ビットレート制御] が [CBR] の場合、目標ビットレートを選択できます。
- (9) **[1フレーム間隔]**
1フレームを挿入する間隔 (秒) を選択します。



- (1) **[映像サイズセット]**
カメラで使用する映像サイズのセットを設定します。
- (2) **[H.264 (2)]**
H.264映像を1ストリームのみ送信する場合、[使用しない] を選択します。
H.264映像を2ストリーム送信する場合、[使用する] を選択します。
- (3) **[H.264 (1)] / [H.264 (2)]**
カメラからビューワーに送信するH.264 (1) とH.264 (2) 映像について、それぞれのタブで設定します。
- (4) **[映像サイズ]**
カメラから送信する映像サイズを選択します。
- (5) **[ビットレート制御]**
映像のビットレートについて設定します。
[ビットレート制御する] を選択したときは、[目標ビットレート] を設定します。
[ビットレート制御しない] を選択したときは、[映像品質] を設定します。
- (6) **[目標ビットレート]**
[ビットレート制御] が [ビットレート制御する] の場合、目標ビットレートを選択します。
- (7) **[映像品質]**
[ビットレート制御] が [ビットレート制御しない] の場合、映像の品質を選択します。
- (8) **[フレームレート]**
映像のフレームレートを選択します。
- (9) **[フレーム間隔]**
H.264映像に1フレームを挿入する間隔 (秒) を選択します。

設定ページ/ビューワーを表示する

カメラの設定ページやビューワーを本ツールから表示できます。基本設定が終わったカメラの動作を確認したり、詳細な設定ができます。

PCの環境によっては、設定ページやビューワーを起動するためにカメラを信頼済みサイトとして追加する必要があります。この登録の操作も本ツールから行うことができます。

重要

セキュリティを確保するため、設定ページによる設定の完了後、およびビューワーの使用後は、Webブラウザを終了してください。

メモ

標準ブラウザの設定にかかわらず、Internet Explorerを起動して、指定したカメラの設定ページ/ビューワーが表示されます。ただし、Internet Explorerを起動できない環境や、Internet Explorerが対応していないカメラでは、標準ブラウザが起動します。

カメラを信頼済みサイトとして追加する

インターネットサイトとイントラネットサイトのセキュリティレベルが [高] に設定されている場合は、カメラのIPアドレスを信頼済みサイトに追加しておく必要があります。

信頼済みサイトへの追加は、Windowsの「インターネット オプション」で設定できますが、本ツールを使うことで、カメラ一覧でカメラを選択してまとめて信頼済みサイトとして追加できます。

1 カメラ一覧で、信頼済みサイトとして追加するカメラを選択する

2 [メンテナンス] > [信頼済みサイトへの追加] を選択する

信頼済みサイトへの追加を確認するメッセージが表示されます。

3 [はい] クリックする

信頼済みサイトへの追加が完了したことを知らせるメッセージが表示されます。

4 [OK] クリックする

メモ

信頼済みサイトへの追加は、Webブラウザの再起動後に有効になります。上記の操作中にWebブラウザを起動していたときは、いったん終了させてから起動し直してください。

カメラの設定ページを表示する

基本設定が終わったカメラに対して、詳細な設定をするときに、本ツールからカメラの設定ページを開くことができます。この操作は、カメラを1台ずつ選択して行います。

1 カメラ一覧で、設定ページを開くカメラを選択する

2 [設定ページ] をクリックする


Webブラウザが起動し、[Windowsセキュリティ] ダイアログが表示されます。

3 カメラの管理者ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックする

カメラの設定ページが表示されます。

設定ページの詳細は、カメラの『操作ガイド』を参照してください。

メモ

設定ページで設定した内容は、カメラにのみ保存され、本ツールには反映されません。設定後にカメラを本ツールのカメラ一覧で選択してから、ツールバーの  (カメラの情報更新) をクリックすると、設定内容を本ツールに反映できます。

ビューワーを表示する

基本設定やカメラの設定ページでの設定が終わったカメラのビューワーを起動して、カメラの映像を確認できます。

この操作は、カメラを1台ずつ選択して行います。

1 カメラ一覧で、ビューワーを開くカメラを選択する

2 [ビューワー] をクリックする または、[ツール] > [ビューワー] を選択する

ビューワーが表示されます。

ビューワーの操作方法の詳細は、カメラの『操作ガイド』を参照してください。

メモ

お使いの機種および設定によっては、認証情報 (ユーザー名とパスワード) の入力が必要です。

カメラのツールを呼び出す

本ツールからカメラアングル設定ツールやカメラのツールを呼び出すことができます。
この操作は、カメラを1台ずつ選択して行います。

重要

インターネットサイトとイントラネットサイトのセキュリティレベルが [高] に設定されている場合は、カメラのIPアドレスを信頼済みサイトに追加しておく必要があります (P. 37)。

メモ

選択しているカメラが対応していないツールは、[ツール] メニューでグレー表示になります。また、お使いの機種によっては、各種ツールが設定ページに組み込まれている場合と、PCへのインストールが必要なソフトウェアの場合があります。設定ページの場合は、[ツール] メニューでツールを選択すると、管理者アカウントの入力を要求され、その後で該当する設定ページが表示されます。PCにインストールしたソフトウェアの場合は、該当するソフトウェアが起動します。

カメラアングル設定ツールを起動する

カメラアングル設定ツールは、カメラの設置後や設置場所の変更時に、PCからの操作でカメラのアングルを設定するツールです。設置したカメラのアングルを設定するときに、本ツールからカメラアングル設定ツールを起動できます。

1 カメラ一覧で、カメラアングルを設定するカメラを選択する

2 [ツール] > [カメラアングル設定ツール] を選択する

カメラアングル設定の起動を確認するメッセージが表示されます。

3 [はい] をクリックする

カメラアングル設定ツールの詳細は、カメラの『操作ガイド』を参照してください。

メモ

手順3で [いいえ] をクリックしてもカメラアングル設定ツールは起動しますが、どのカメラとも接続されていません。改めてカメラアングル設定ツールでカメラとの接続を行う必要があります。

ツールを起動する

実際にカメラを使用するときは、カメラのツールでさまざまな動作設定を行います。本ツールから、選択したカメラのツールを起動できます。

1 カメラ一覧で、設定するカメラを選択する

2 [ツール] をクリックし、起動するツールを選択する

次のツールを選択できます。

- プライバシーマスク設定ツール
- パノラマ作成ツール
- 可視範囲設定ツール
- プリセット設定ツール
- インテリジェント機能設定ツール
- ログビューワー
- 録画映像ユーティリティ

ツールを選択すると、選択したツール画面が表示されます。

ツールでの設定方法の詳細は、カメラの『操作ガイド』を参照してください。

 **重要**

セキュリティを確保するため、ツールでの設定の終了後は、Webブラウザを終了してください。

3章



カメラ指定ファイルの利用

本ツールで表示されるカメラ一覧の内容は、カメラ指定ファイルとして保存や編集ができます。ツールを起動したときにカメラ指定ファイルを読み込んだり、256台を超えるカメラの管理に応用することもできます。

カメラ指定ファイルを保存する

カメラ一覧の内容を、カメラ指定ファイルとしてCSV形式で保存できます。保存したカメラ指定ファイルは、次回起動時に自動的に読み込むように設定したり、編集してカメラの設定に利用できます。

ツールの終了時に保存する

本ツールの終了時に、カメラ指定ファイルを保存できます。次回起動時にカメラ指定ファイルを読み込むかどうかも指定できます。

メモ

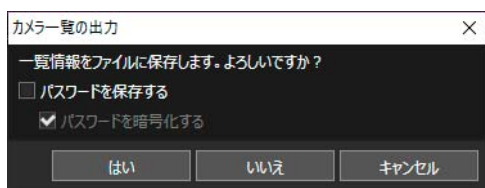
ツール終了時にカメラ指定ファイルを保存できるのは、[ファイル] > [環境設定] (P. 47) で、[カメラ指定ファイルを使用する] をチェックし、[終了時に保存しない] をチェックしていない場合です。

- 1 [ファイル] > [終了] を選択する
または、カメラ一覧画面の閉じるボタンをクリックする

[カメラ一覧の出力] ダイアログが表示されます。

- 2 カメラ指定ファイルに、管理者パスワードを含めるかどうかを指定する

管理者パスワードを含めてカメラ指定ファイルを保存する場合は [パスワードを保存する] をチェックします。さらに、パスワードを暗号化してカメラ指定ファイルを保存する場合は [パスワードを暗号化する] をチェックします。



メモ

[パスワードを保存する] をチェックした場合、共通認証情報で設定した管理者パスワードも、カメラ指定ファイルに保存されます。

- 3 カメラ指定ファイルを保存するときは、[はい] をクリックする

[名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

[いいえ] をクリックしたときは、カメラ一覧の内容をファイルに保存せずに本ツールが終了します。

- 4 保存するフォルダとファイル名を指定し、[保存] をクリックする

次回起動時にカメラ指定ファイルを読み込むかどうかを確認するメッセージが表示されます。

- 5 カメラ指定ファイルを読み込むときは、[はい] をクリックする

本ツールが終了します。

[いいえ] をクリックしたときは、次回本ツール起動時にカメラ指定ファイルを読み込みません。

メニューから保存する

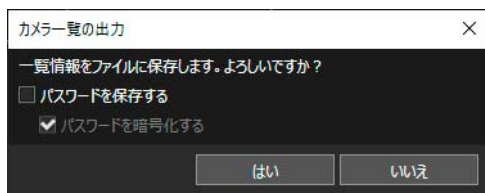
カメラ指定ファイルは、本ツールの起動中に、次の手順で保存できます。

1 [ファイル] > [名前を付けて保存] を選択する

[カメラ一覧の出力] ダイアログが表示されます。

2 カメラ指定ファイルに、管理者パスワードを含めるかどうかを指定する

管理者パスワードを含めてカメラ指定ファイルを保存する場合は [パスワードを保存する] をチェックします。さらに、パスワードを暗号化してカメラ指定ファイルを保存する場合は [パスワードを暗号化する] をチェックします。



メモ

[パスワードを保存する] をチェックした場合、共通認証情報で設定した管理者パスワードも、カメラ指定ファイルに保存されます。

3 [はい]をクリックする

[名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

4 保存するフォルダとファイル名を指定し、[保存] をクリックする

次回起動時にカメラ指定ファイルを読み込むかどうかを確認するメッセージが表示されます。

5 カメラ指定ファイルを読み込むときは、[はい] をクリックする

[いいえ] をクリックしたときは、次回本ツール起動時にカメラ指定ファイルを読み込みません。

メモ

- 現在使用しているカメラ指定ファイルに上書き保存する場合は、[ファイル] > [上書き保存] で行います。
- [上書き保存] は [ファイル] > [環境設定] で [カメラ指定ファイルを使用する] がチェックされていて、指定されたパスにファイルが存在する場合に有効となります。

カメラ指定ファイルを編集する

保存したCSV形式のカメラ指定ファイルは、Excelなどの表計算ソフト、またはメモ帳などのテキストエディターを使って編集できます。

重要

- Excelを使ってカメラ指定ファイルを作成する場合、保存の際に「CSV (カンマ区切り) (*.csv)」を選択してください。
- メモ帳などのテキストエディターを使ってカメラ指定ファイルを作成する場合、各項目の文字列全体をダブルクォーテーションで囲み、カンマで区切ってください。保存の際は、ファイルの拡張子をcsvに指定してください。
- カメラ指定ファイルに指定できるカメラの数は256台分までです。
- カメラ指定ファイルはUTF-8で保存されている必要があります。保存時に他のエンコードで保存しないようにしてください。
- 1行目 (ヘッダー) にカンマの記述が2つ未満であったり、「ContainsPass」の値が0、1、2以外になっていると、読み込み時にエラーになります。
- 3行目以降の出力項目の数が、2行目に記述されている項目数と一致しなかった場合、カメラ指定ファイルの読み込み時にエラーになります。

カメラ指定ファイルの構成

1行目 (ヘッダー)

次のように記述されます。

```
Camera Management Tool,Ver.x.x,ContainsPass=[0|1|2], [共通認証管理者名=共通認証管理者パスワード]
```

「ContainsPass」の値は、保存時の [カメラ一覧の出力] ダイアログの設定によって下記のようにになります。

値	[カメラ一覧の出力] ダイアログの設定
0	[パスワードを保存する] にチェックなし
1	[パスワードを保存する] をチェックし、[パスワードを暗号化する] はチェックなし
2	[パスワードを保存する] と [パスワードを暗号化する] とともにチェック

[共通認証管理者名=共通認証管理者パスワード] は、「ContainsPass」の値が「1」または「2」の場合にのみ記述されます。

[共通認証管理者名=共通認証管理者パスワード] は、最大3つ記述されます。

2行目以降 (出力項目)

2行目以降に、出力項目がカンマ区切りで記述されます。2行目は項目名が記述され、3行目以降にカメラの出力項目が1台につき1行記述されます。

2行目	#uuid,Group,CameraName,Status,SettingStatus,IPv4Address,AutoIP,IPv6Address,Model, FirmVer,Serial,MACAddress,Word,Port,SSL,Notes,BuildNo,Bkup,HWID,SubnetMask, DefaultGateway,FirmPath,RestoreDefault,User,DHCP,IPv4First,PortFirst
3行目	urn:uuid:ddddddd-3333-dddd-3333-ddddddddddd,,"Camera004",1,,,[dddd::ddd:ddd:ddd:ddd],VB-XXX,1.0.0,333333333333,33:33:33:33:33:33,,80,0,, 4820,,57,255.255.255.0,,,0,,0,,

出力項目

項目	説明	備考
uuid	カメラの固有識別子	
Group	グループ名	本ツールのカメラ一覧上で入力した内容。
CameraName	カメラ名	15文字以内。
Status	カメラの接続状態 0：接続不可 1：接続可 2：要認証 3：接続可 (エラー) 4：要管理者登録	
SettingStatus	最近行った操作	
IPv4Address	IPv4アドレス	
AutoIP	IPv4アドレス (AutoIP)	
IPv6Address	IPv6アドレス	リンクローカルアドレスのみ。 (手動設定や、RAまたはDHCPv6による自動設定アドレスは出力しない。)
Model	カメラの機種名	
FirmVer	ファームウェアバージョン	
Serial	シリアル番号	
MACAddress	MACアドレス	大文字で記述。
Word	カメラの管理者パスワード	保存時の [カメラ一覧の出力] ダイアログで [パスワードを保存する] にチェックがなかったときや、カメラに対して個別にパスワードを入力していなかったときは空欄。 [パスワードを保存する] にチェックがあり、[パスワードを暗号化する] にチェックがないときは、暗号化なしで出力。 [パスワードを保存する] と [パスワードを暗号化する] の両方にチェックがあるときは、暗号化して出力。
Port	カメラのHTTP/HTTPSポート番号	[SSL] が「0:使用しない」の場合はHTTPポート番号、「1:使用する」の場合はHTTPSポート番号。
SSL	SSL通信使用の有無 0：使用しない 1：使用する	
Notes	備考	本ツールのカメラ一覧上で入力した内容。
BuildNo	ビルド番号	
Bkup	バックアップファイルの保存先	[環境設定] ダイアログで指定したバックアップファイルの保存先と同じ場合は空欄。
HWID	ハードウェアID	
SubnetMask	サブネットマスク (IPv4)	
DefaultGateway	デフォルトゲートウェイアドレス (IPv4)	
FirmPath	ファームウェアファイルパス	
RestoreDefault	ファームアップ時の初期設定に戻す 0：戻さない 1：戻す	ファームウェア更新時、カメラを初期設定に戻すかどうかの設定。
User	管理者名	カメラごとに管理者名を設定せず、共通認証情報を使用している場合は空欄。
DHCP	DHCP(IPv4)使用の有無 0：使用しない 1：使用する	

項目	説明	備考
IPv4First	IPv4アドレス (手動追加時)	[カメラ一覧] > [カメラの追加] によるカメラ追加時 (P. 50)、または、カメラ指定ファイルを読み込んでカメラを追加したとき (P. 53) に指定したIPv4アドレス。カメラに設定されているIPv4アドレスと同じ場合は空欄。
PortFirst	カメラのHTTP/HTTPSポート番号 (手動追加時)	[カメラ一覧] > [カメラの追加] によるカメラ追加時 (P. 50)、または、カメラ指定ファイルを読み込んでカメラを追加したとき (P. 53) に指定したポート番号。カメラに設定されているポート番号と同じ場合は空欄。

カメラ指定ファイルを読み込む

保存したカメラ指定ファイルは、本ツール起動後に読み込んだり、起動時に自動的に読み込むように設定することができます。


本ツール起動後に読み込む

本ツール起動後にカメラ指定ファイルを読み込むには、次の2つの方法があります。

- [ファイル] > [開く] を選択し、[開く] ダイアログからカメラ指定ファイルを読み込む
- カメラ指定ファイルをカメラ一覧にドラッグ&ドロップする

カメラ指定ファイルを読み込むと、その内容がカメラ一覧に表示され、カメラ一覧の情報を更新するかどうかを確認するメッセージが表示されます。[はい] をクリックすると、続けてカメラとの認証が行われ、情報が更新されます。更新せずに、読み込んだカメラ指定ファイルの内容のままカメラ一覧に表示したいときは、[いいえ] をクリックしてください。

メモ

- 読み込み時にカメラ一覧の情報を更新しなかった場合でも、カメラ一覧でカメラを選択し、 (カメラの情報更新) をクリックすれば更新できます。
- カメラ指定ファイルに保存されている共通認証情報は、次の両方の条件を満たしている場合に、本ツールの [共通認証情報の設定] ダイアログにも読み込まれます。
 - 読み込む前に、カメラ一覧に1台もカメラがない
 - [共通認証情報の設定] ダイアログが初期状態である

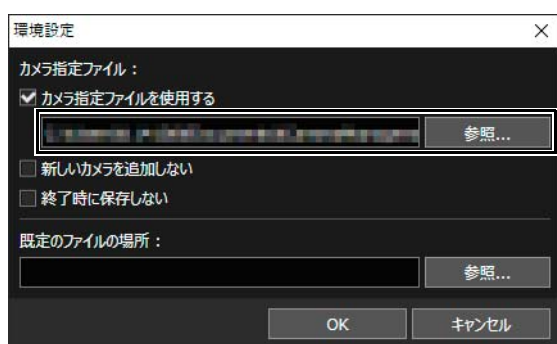
本ツール起動時に自動的に読み込む

特定のカメラ指定ファイルを本ツールの起動時に自動的に読み込むには、[環境設定] ダイアログで設定します。

1 [ファイル] > [環境設定] を選択する

[環境設定] ダイアログが表示されます。

2 [カメラ指定ファイルを使用する] をチェックし、カメラ指定ファイルの保存先とファイル名を指定する



3 [OK] をクリックする

メモ

- [環境設定] ダイアログのカメラ指定ファイルへのパスは、次のいずれかを実行したときに上書きされます。
 - カメラ指定ファイル保存時に、次回起動時に読み込む設定をした場合 (P. 42)
 - [ファイル] > [開く] やドラッグ&ドロップでカメラ指定ファイルを読み込んだ場合
- [ファイル] > [名前を付けて保存] を行ったとき、[次回起動時にこのカメラを読み込みますか?] のメッセージで [はい] をクリックした場合 (P. 43) にも、[カメラ指定ファイルを使用する] にチェックが入ります。

■ 環境設定のその他の項目

[カメラ指定ファイルを使用する]

カメラ指定ファイルの保存先とファイル名を指定します。

[新しいカメラを追加しない]

カメラ一覧に表示するカメラを、カメラ指定ファイルに記述されているカメラのみに限定するときにはチェックします。チェックすると、カメラ一覧へカメラの検出による追加、手動での追加・削除が行えません。また、異なるカメラ指定ファイルを読み込んだ場合は、現在のカメラ一覧と共通認証情報はすべて破棄され、新たに読み込まれたカメラ指定ファイルの共通認証情報とカメラ一覧に置き換わります。

なお、本設定は、[カメラ指定ファイルを使用する] をチェックしているときのみ有効です。また、このチェックボックスをチェックしたときは、[カメラ指定ファイルを使用する] はチェック状態のままグレー表示され、設定の変更はできません。

[終了時に保存しない]

チェックをすると、本ツールの終了時に [カメラ一覧の出力] ダイアログを表示せず、カメラ指定ファイルに出力・保存しません。[カメラ指定ファイルを使用する] をチェックしたときに有効です。

[既定のファイルの場所]

カメラ指定ファイルやバックアップファイルなど、本ツールで作成するファイルの既定の保存先フォルダを指定します。

4章



カメラの検出/設定テクニック

カメラ指定ファイルを使った、IPアドレスの割り当て方法を説明します。カメラの設定を読み込んで他のカメラにコピーしたり、ファイルに保存して複数のカメラに適用する方法も説明します。

IPアドレスを指定してカメラを検出する

運用中のシステムにあるカメラなど、IPv4アドレスがわかっているカメラを検出してカメラ一覧に追加します。手動で1台ずつ検出する方法と、CSVファイルを読み込んで、複数のカメラを一度にまとめて検出する方法があります。

メモ

検出したカメラを、カメラ一覧に追加できるのは256台までです。追加時にカメラ上限台数(256台)を超える場合は、エラーメッセージが表示されます。この場合は、カメラ一覧からカメラを削除する(P. 25)までカメラの追加はできません。

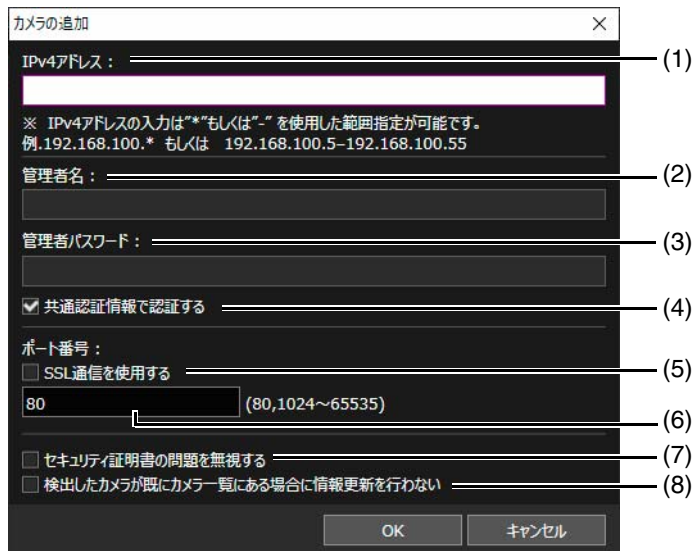
IPv4アドレスでカメラを検出する

本ソフトウェアと異なるネットワークセグメントに接続されているカメラを、IPv4アドレスを指定することで、複数台同時に検出、追加できます。

1 [カメラの追加] を選択する

[カメラの追加] ダイアログが表示されます。

2 各項目を入力する



(1) [IPv4アドレス]

追加するカメラのIPv4アドレスを入力します。連続するIPv4アドレスのカメラは、“*”や“-”を使用して範囲を指定することで、同時に検出できます。

指定文字	説明	例
*	ワイルドカード。IPアドレスの第3、第4オクテットに対して指定可。	192.168.100.* → 192.168.100.1から 192.168.100.254まで
-	数字と数字の間に記述して範囲を指定。	192.168.100.100- 192.168.100.150 → 192.168.100.100から 192.168.100.150まで

(2) [管理者名]

カメラの管理者名を入力します。[共通認証情報で認証する] をチェックしたときは、グレー表示され入力できません。

- (3) **[管理者パスワード]**
カメラの管理者パスワードを入力します。[共通認証情報で認証する] をチェックしたときは、グレー表示され入力できません。
- (4) **[共通認証情報で認証する]**
共通認証情報で (P. 27) 認証するときは、このチェックボックスをチェックします。チェックした場合、上記 (2) (3) で設定した管理者名と管理者パスワードが破棄されます。
- (5) **[SSL通信を使用する]**
SSL通信でカメラに接続する場合にチェックします。[SSL通信を使用する] をチェックすると、自己証明書の確認を行います。自己証明書に問題があり、一度も接続されていないカメラを認証した場合は、メッセージが表示されます。
- (6) **ポート番号入力欄**
カメラの接続時に使用するポート番号を指定します。通常はデフォルトのままにします。
- (7) **[セキュリティ証明書の問題を無視する]**
セキュリティ証明書に問題があったとしても、カメラをカメラ一覧に追加します。
- (8) **[検出したカメラがすでにカメラ一覧にある場合に情報更新を行わない]**
指定したIPv4アドレス範囲内にすでにカメラ一覧に追加済みのカメラがあった場合に、そのカメラの情報を更新するかどうかを選択します。

3 [OK] をクリックする

カメラ一覧に、カメラが追加されます。

カメラ指定ファイルでカメラを検出する

IPv4アドレスの列を編集したCSVファイル形式のカメラ指定ファイルを読み込んで、複数のカメラを一括で検出します。

1 カメラ指定ファイルを保存する (P. 42)

2 カメラ指定ファイルを編集する (P. 44)

1行目のヘッダーと2行目の項目名は必須です。文字列を変更しないでください。

3行目以降の項目から、IPv4アドレスの部分のみ残し、編集します。

	A	B	C	D	E	F	G
1	Camera	Me	Ver	ContainsPass=0			
2	#uuid	Group	CameraName	Status	SettingStatus	IPv4Address	AutoIP
3						172.23.3.191	
4						172.23.3.192	
5						172.23.3.193	
6						172.23.3.194	
7						172.23.3.195	
8						172.23.3.196	
9						172.23.3.197	
10							
11							
12							

1行目
2行目
カメラ一覧に追加するカメラのIPv4アドレスを入力する

メモ

IPv4アドレスとセットで、SSLとポート番号を指定することができます。

3 カメラ指定ファイルをCSV形式で保存する

4 [ファイル] > [開く] を選択する

[開く] ダイアログが表示されます。

5 [ファイル名] に保存したカメラ指定ファイル名を入力し、[OK] をクリックする

指定したIPv4アドレスのカメラを検出し、カメラ一覧に追加されます。

メモ

- 3行目以降にIPv4アドレスのみが記載されたカメラ指定ファイルを読み込んだ場合、[共通認証情報の設定] ダイアログが設定済みなら、その設定で認証が行われます。[共通認証情報の設定] ダイアログが未設定 (初期状態) で、かつ、カメラ一覧に1台もカメラがない状態で読み込んだときは、カメラ指定ファイルの1行目に記載されている、共通認証情報 (P. 44) で認証されます。また、IPv4アドレスと一緒に、管理者名/管理者パスワードを記載することもできます。この場合は、記載した管理者名/管理者パスワードで認証が行われます。
- IPv4アドレスが間違っていたり、認証に失敗したカメラなど、正しく接続できなかったカメラは、カメラ一覧に追加されません。
- 接続状況が確認できたカメラから検出し、カメラ一覧に追加されるため、編集したカメラ指定ファイルの記述順とは一致しないことがあります。

設定ファイルでカメラを設定する

カメラ一覧に表示されているカメラに対し、カメラ指定ファイルを元に編集した「設定ファイル」を読み込んで、複数のカメラを一括設定できます。

設定ファイルを作成する

設定ファイルには、カメラ一覧のカメラを特定するMACアドレスと、そのカメラに設定したいIPv4アドレスやカメラ名などのパラメーターを指定します。設定ファイルは、検索機能 (P. 18) で検出したカメラ一覧をカメラ指定ファイルとして保存し、それを元に編集して作成すると効率的です。

1 カメラ指定ファイルを保存する (P. 43)

2 カメラ指定ファイルを編集する (P. 44)

1行目のヘッダー行と2行目の項目名は必須です。3行目以降は、設定対象を特定する [MACAddress] (MACアドレス) と、カメラに設定したい値を指定します。設定できる値は、次のとおりです。

- [IPv4Address] (IPv4アドレス)
- [SubnetMask] (サブネットマスク)
- [DefaultGateway] (デフォルトゲートウェイアドレス)
- [CameraName] (カメラ名)
- [Port] (HTTP/HTTPSポート番号)
- [User] (管理者名)
- [Word] (管理者パスワード)
- [DHCP] (DHCP使用の有無)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	Camera Management Tool	Ver.	ContainsPass=0									
2	#uuid	Group	CameraName	Status	SettingStatus	IPv4Address	AutoIP	IPv6Address	Model	FirmVer	Serial	MACAddress
3	urn:uuid:aaaaaaa-1111-aaaa-1111-aaaaaaaaaaaa	Camera	3	1		192.168.100.101			VB-M50B	1.0.0		
4	urn:uuid:bbbbbbb-2222-bbbb-2222-bbbbbbbbbbbb	Camera	1	1		192.168.100.102			VB-M50B	1.0.0		
5	urn:uuid:ccccccc-3333-cccc-3333-ccccccccccc	Camera	1	1		192.168.100.103			VB-M50B	1.0.0		
6	urn:uuid:ddddddd-4444-dddd-4444-ddddddddddd	Camera	1	1		192.168.100.104			VB-H651Y	1.0.0		
7	urn:uuid:eeeeeee-5555-eeee-5555-eeeeeeeeeee	Camera	2	1		192.168.100.105			VB-H651Y	1.0.0		
8	urn:uuid:ffffff-6666-ffff-6666-ffffffffffff	Camera	1	1		192.168.100.106			VB-H651Y	1.0.0		
9	urn:uuid:ggggggg-7777-gggg-7777-ggggggggggg	Camera	2	1		192.168.100.107			VB-H651Y	1.0.0		
10												

[MACAddress] の値は必須

重要

1行目のヘッダーがContainsPass=2のときは、[Word] (管理者パスワード) の指定が暗号化されている値として扱われます。そのため、[Word] (管理者パスワード) を編集するときは、ContainsPass=1に変更してください。ただし、カメラに対する管理者パスワードの情報が暗号化されていない状態でファイルに保存されます。セキュリティを確保するため、ファイルの取り扱いには十分ご注意ください。

メモ

- 設定ファイルには [MACAddress] (MACアドレス) の記載が必須です。
- [DefaultGateway] (デフォルトゲートウェイ) の列を空欄にした場合は、カメラに空の値が設定されます。設定したくないときは、[DefaultGateway] (デフォルトゲートウェイ) の列を削除してください。
- お使いの機種やファームウェアバージョンにより、[User] (管理者名) と [Word] (管理者パスワード) の設定可能な文字長が異なります。そのため、指定された値が設定可能な文字長の範囲外の場合は無効になります。設定可能な文字長は、「カメラの管理者アカウントについて」(P. 82) を参照してください。

3 設定ファイルを保存する

編集した設定ファイルをCSV形式のまま保存します。

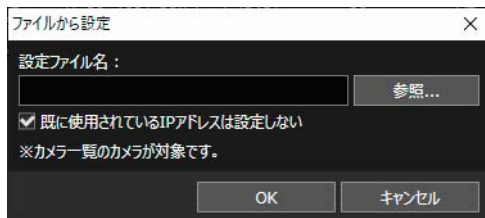
設定ファイルを読み込む

カメラ一覧のMACアドレスと、前記「設定ファイルを作成する」で編集した設定ファイルのMACアドレスとを突き合わせ、合致したカメラに、設定ファイルの内容を設定します。

1 [カメラ設定] > [ファイルから設定] を選択し、編集した設定ファイルを指定する

入力欄に、設定ファイルが保存されているフォルダとファイル名を入力します。または、[参照] をクリックし、表示される画面で設定ファイルを指定します。

すでに割り当てられているIPアドレスと重複させないためには、[既に使用されているIPアドレスは設定しない] をチェックします。



メモ

- カメラ一覧の [接続状態] が [接続可] または [⚠ 接続可] と表示されているカメラに対してのみ、設定されます。
- カメラ一覧の [接続状態] が [要管理者登録] のカメラは、設定ファイルに管理者名と管理者パスワードを指定して、管理者アカウントを登録できます。カメラ再起動後、[接続状態] が [接続可] または [⚠ 接続可] に変わるので、再度、設定ファイルを読み込むと、ほかの項目も設定されます。

2 [OK] をクリックする

カメラ詳細設定

カメラの詳細設定を読み込み、必要に応じて設定内容を変更してカメラに保存できます。詳細設定の内容をファイルに保存しておき、そのファイルから設定内容をカメラに読み込むこともできます。

メモ

- 詳細設定のコピーは、カメラの機種およびファームウェアのバージョンが同じカメラに対してのみ実行できます。
- 本ツールは、ME20F-SHNの詳細設定には対応していません。

詳細設定をカメラから読み込み、カメラに保存する

カメラに保存されている詳細設定の内容は、次の手順で読み込みます。

1 カメラ一覧で、詳細設定をしたいカメラを選択する

[カメラ詳細設定]はカメラ一覧の [接続状態] が [接続可] または [⚠ 接続可] と表示されているカメラでのみ設定できます。

2 ツールバーの をクリックする または、[カメラ設定] > [カメラ詳細設定] を選択する

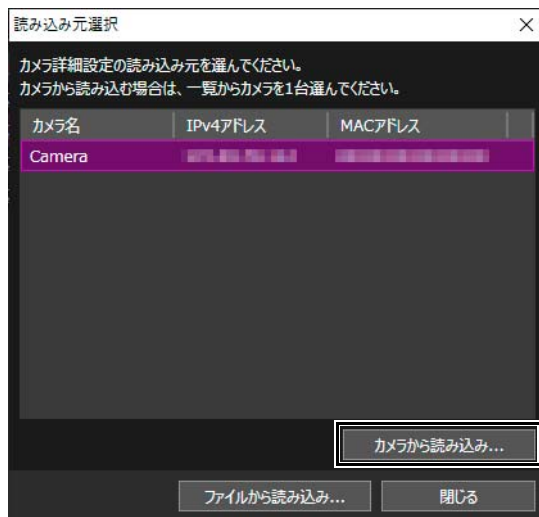
[読み込み元選択] ダイアログが表示されます。ダイアログの一覧には、次の条件を満たすカメラが表示されます。

- 手順1で選択したカメラと [機種名]、[ファームウェアバージョン] が同じ
- [接続状態] が [接続可] または [⚠ 接続可]

メモ

[カメラ名] などヘッダーのクリックによるソートが可能です。

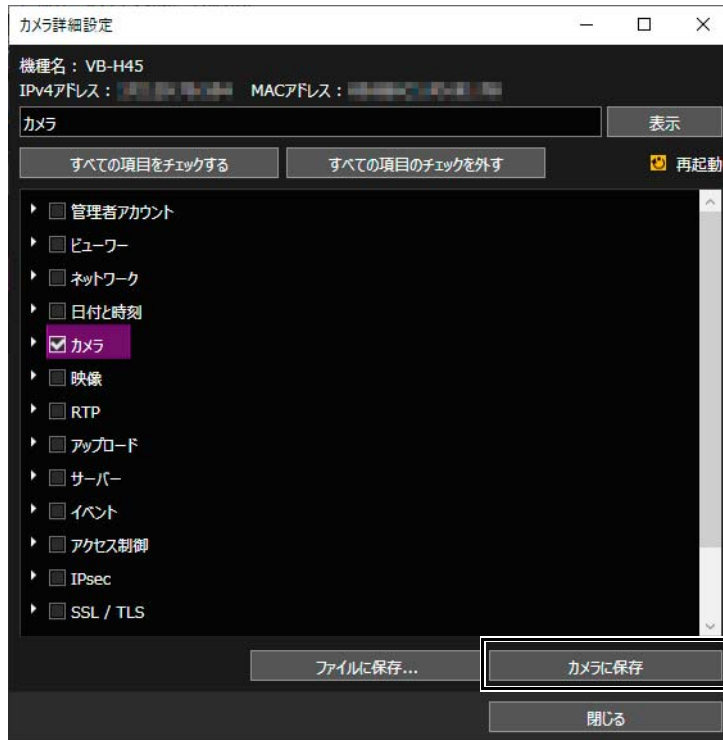
3 詳細設定を読み込むカメラを選択し、[カメラから読み込み] をクリックする



選択したカメラからの設定内容の読み込みが開始します。読み込みが終わるまで時間がかかります。読み込みが終わると、[カメラ詳細設定] ダイアログが表示されます。

4 詳細設定の内容を編集する (P. 57)

5 [カメラに保存] をクリックする



編集した詳細設定が、手順1で選択したカメラに保存されます。

6 [カメラ詳細設定] ダイアログの [閉じる] をクリックする

[カメラ詳細設定] ダイアログが閉じます。

詳細設定をファイルに保存する

[カメラ詳細設定] で読み込んだ設定内容を、ファイルとして保存できます。たとえば、ある時点のカメラ詳細設定をファイルに保存しておき、のちにその設定をカメラに保存すると、過去の詳細設定に戻すことができます。

1 「詳細設定をカメラから読み込み、カメラに保存する」(P. 55) の手順1から4までを行う

2 [ファイルに保存] をクリックする

[名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

3 ファイルの保存先とファイル名を指定して [保存] をクリックする

[名前を付けて保存] ダイアログが閉じ、[カメラ詳細設定] ダイアログに戻ります。

4 [カメラ詳細設定] ダイアログの [閉じる] をクリックする

[カメラ詳細設定] ダイアログが閉じます。

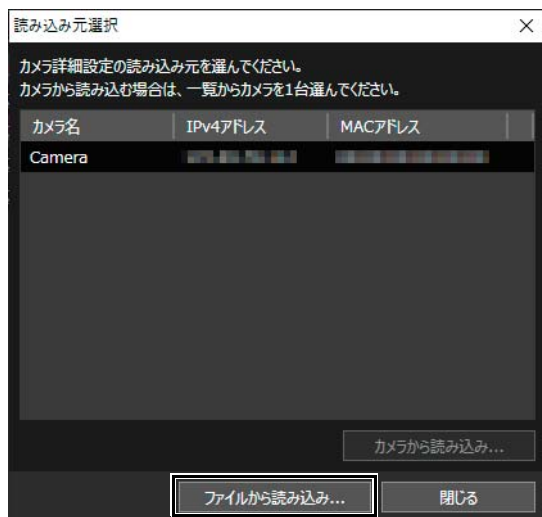
メモ

カメラの詳細設定はXML形式のファイルに保存されます。XMLファイルの内容を変更すると、そのファイルを本ツールを使ってカメラに保存する際、正常に読み込めなくなりますので、注意してください。

詳細設定をファイルから読み込む

ファイルとして保存した詳細設定の内容は、再度本ツールに読み込むことができます。

- 1 「詳細設定をカメラから読み込み、カメラに保存する」(P. 55) の手順1から2までを行う
- 2 [ファイルから読み込み] をクリックする



[開く] ダイアログが表示されます。

- 3 カメラ詳細設定を編集するファイルを指定して、[開く] をクリックする

指定したファイルの設定内容が読み込まれます。読み込みが終わると、[カメラ詳細設定] ダイアログが表示されます。

メモ

本ツールで保存した (P. 56) XML形式のファイルのみ読み込みができます。他のエディターなどで編集したXMLファイルは、正常に読み込みができないことがあります。

- 4 詳細設定の内容を編集する (P. 57)

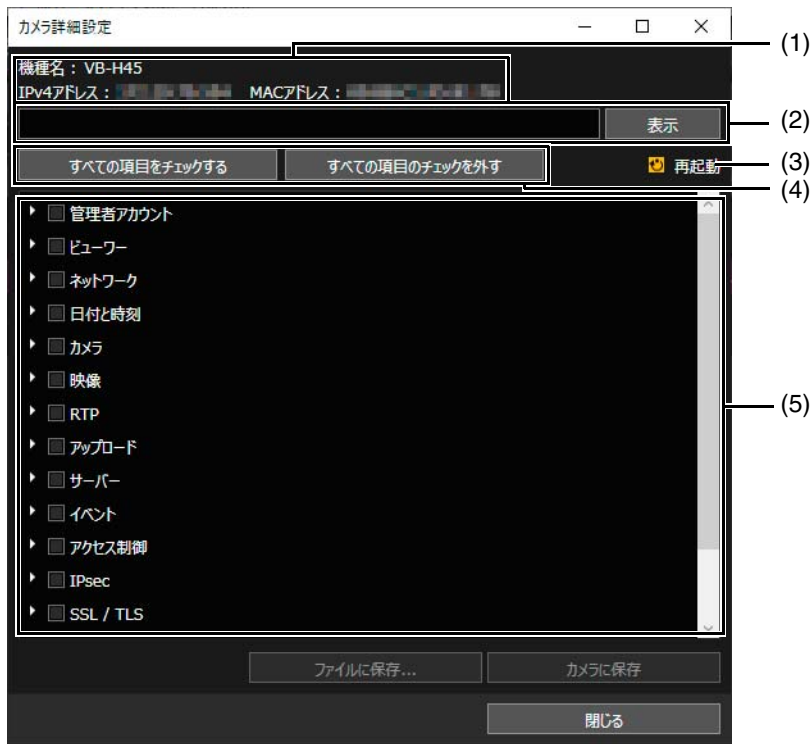
- 5 [ファイルに保存] または [カメラに保存] し、[カメラ詳細設定] ダイアログを閉じる

カメラの詳細設定の内容を編集する

[カメラ詳細設定] ダイアログには、カメラまたはファイルから読み込まれた設定内容が表示されます。この設定内容は、カメラの設定ページで設定できる内容と同じです。詳細設定の各項目は [カメラ詳細設定] ダイアログで編集できます。

メモ

- 設定項目の詳細は、カメラの『操作ガイド』を参照してください。
- 設定ページでカメラごとに個別に行う必要がある設定項目は、[カメラ詳細設定] ダイアログでは編集できません。



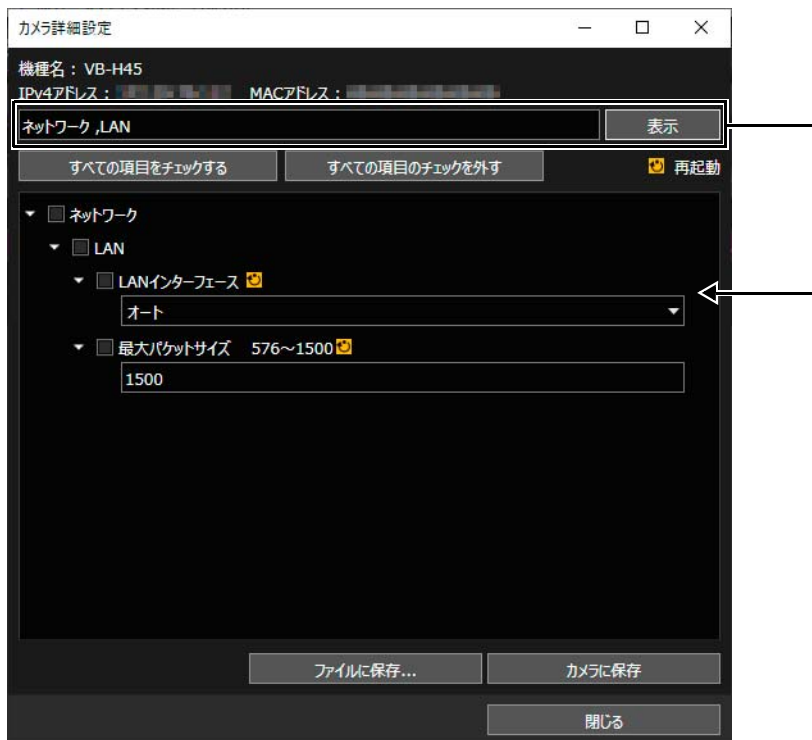
(1) 詳細設定読み込み元情報

[カメラ詳細設定] に読み込んだ機種名、IPv4アドレス、MACアドレスが表示されます。

(2) 設定項目パス表示部

設定項目の一覧で選択した項目のパスが表示されます。ツリー表示の下位の項目を選択したときは、上位の項目に続いてカンマ区切りで表示されます。

入力欄に設定項目を入力してから [表示] をクリックすると、指定したパスの検索が行われ、入力した文字が含まれる設定項目のみ表示されます。また、入力欄を空白にして [表示] をクリックすると、検索状態が解除されます。



(3) [再起動]

オレンジの記号がある項目を変更すると、カメラが再起動します。

(4) **[すべての項目をチェックする]、[すべての項目のチェックを外す]**

設定項目一覧のすべてのチェックボックスをまとめてチェックしたり、チェックを外します。

(5) **設定項目一覧**

設定項目がツリー表示されます。ここで設定の変更や編集を行い、カメラまたはファイルに保存する設定項目をチェックします。

5章



カメラのメンテナンス

本ツールでは、ファームウェアの更新や設定値のバックアップ/リストア、メモリーカードのマウント/アンマウントなど、カメラのさまざまなメンテナンスを実行できます。

ソフトウェアを更新する

複数のカメラに対して、まとめてファームウェアを更新したり、カメラのファームウェアを更新せずに、モバイルカメラビューワーのみを更新できます。

重要

- 編集・加工された更新ファイルを使用しないでください。
- ソフトウェアの更新後、カメラが再起動されるため、いったんすべての接続が切断されます。
- ソフトウェアの更新処理中は、カメラを操作・設定できません。

カメラのファームウェアを更新する

ファームウェアの更新では、ファームウェアの指定やカメラの設定値を工場出荷設定に戻すことができます。

重要

- ファームウェアの更新処理中にネットワークケーブルを抜いたりカメラの電源を切らないでください。カメラの故障の原因になります。
- 更新処理中に停電事故が起きるなど、ファームウェアの更新が正常に終了しなかった場合、カメラのファームウェアが破壊されるおそれがあります。障害復旧後もカメラにアクセスできない場合は、販売店にご連絡ください。
- 複数のPCで本ツールを起動して同時にファームウェアの更新を実行しないでください。カメラの故障の原因になります。

1 カメラ一覧で、ファームウェアを更新するカメラを選択する

2 ツールバーの をクリックする または、[メンテナンス]>[ソフトウェア更新]>[ファームウェア更新]を選択する

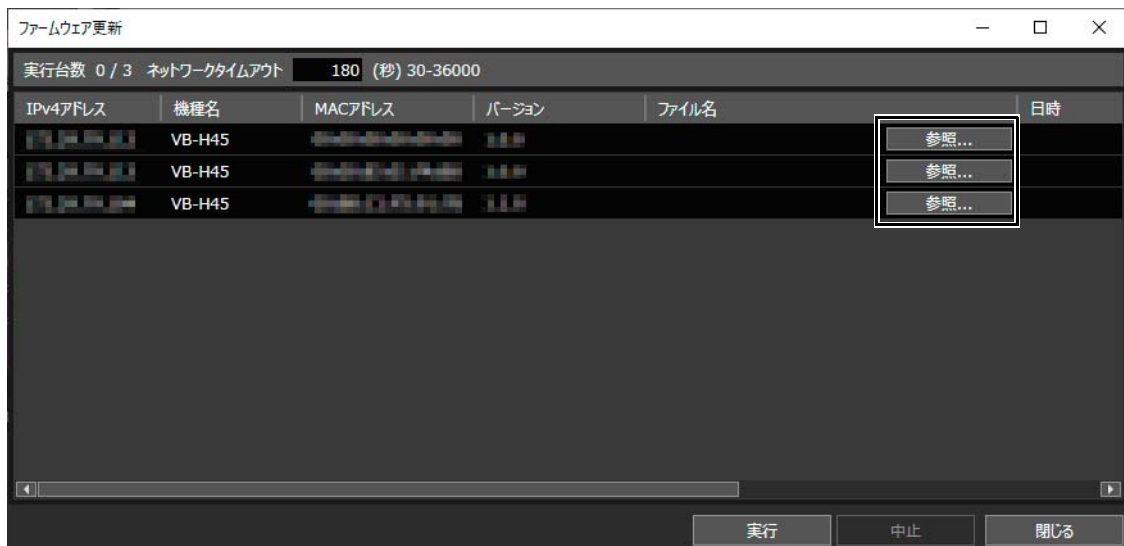
ファームウェア更新にあたっての注意事項を示すメッセージが表示されます。

3 メッセージをよく読み、操作を続行するときは [はい] をクリックする

[ファームウェア更新] 画面が表示されます。

4 ファームウェアファイルを指定する

[参照] をクリックし、表示されるダイアログでファームウェアファイルを指定します。



メモ

[ファイル名] のパスは、コピー・ペーストできます。Ctrl+C キーでコピーしてから、コピー先の行を選択してCtrl+V キーでペーストします。Ctrl キーを押しながらクリックするとコピー先を複数選択できます。

5 ファームウェアの更新と同時にカメラを初期設定に戻すときは、[初期設定] で [戻す] を選択する

[戻す] を選択すると、ファームウェアの更新後に、管理者アカウントやネットワーク設定などを除くユーザー設定値が、工場出荷設定の状態に戻ります。初期化されない項目については、カメラの『操作ガイド』を参照してください。

カメラの現在の設定を保持するときは、[初期設定] は [戻さない] にします。

6 必要に応じて、[ネットワークタイムアウト] を秒単位 (30~36000) で指定する

ファームウェアを転送する前に、カメラからの応答を待つ時間を入力します。ネットワークの速度が遅い場合など、ここで入力した待ち時間を経過しても応答がなかったカメラに対しては、ファームウェア更新は実行されません。待ち時間を長く指定して、再度、実行してください。

7 [実行] をクリックする

ファームウェアの更新が開始します。

更新中は、[メッセージ] 欄にプログレスバーが表示されます。ファームウェアの更新が終了した段階で、正常に終了しなかったカメラが存在する場合は、メッセージが表示されます。[メッセージ] 欄を確認してください。

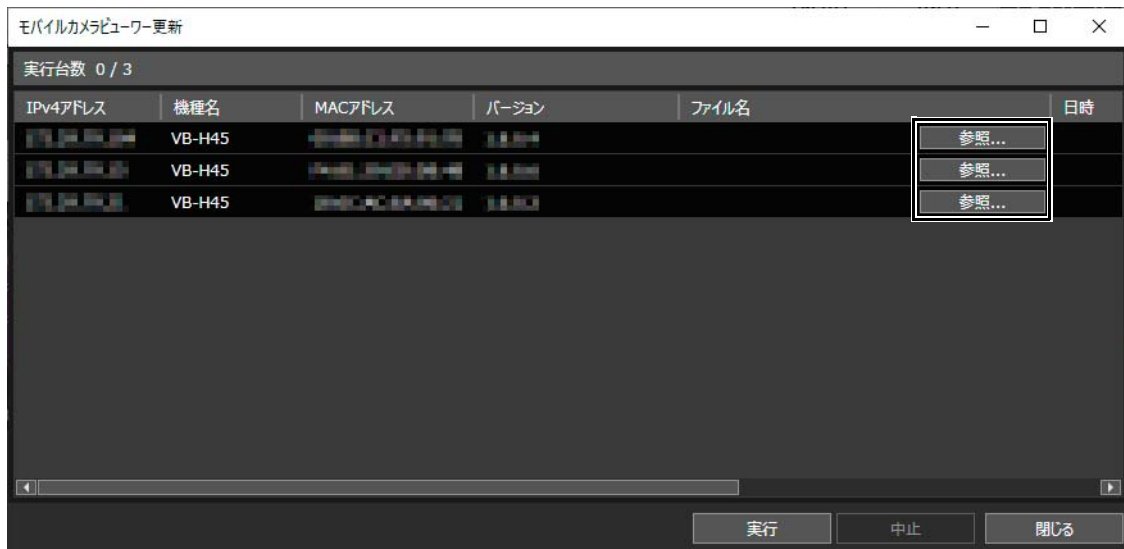
メモ

[中止] をクリックすると、ファームウェアの更新を途中で中止できます。ただし、カメラが再起動に入った段階では中止できません。

モバイルカメラビューワーを更新する

カメラ一覧で選択したカメラに対して、モバイルカメラビューワーのみを更新します。

- 1 カメラ一覧で、モバイルカメラビューワーを更新するカメラを選択する
- 2 [メンテナンス]>[ソフトウェア更新]>[モバイルカメラビューワー更新]を選択する
[モバイルカメラビューワー更新] ダイアログが表示されます。
- 3 モバイルカメラビューワー更新ファイルを指定する
[参照] をクリックし、表示されるダイアログでファイルを指定します。



メモ

[ファイル名] のパスは、コピー・ペーストできます。Ctrl+C キーでコピーしてから、コピー先の行を選択してCtrl+V キーでペーストします。Ctrl キーを押しながらクリックするとコピー先を複数選択できます。

4 [実行]をクリックする

モバイルカメラビューワーの更新が開始します。

更新中は、[メッセージ] 欄にプログレスバーが表示されます。モバイルカメラビューワーの更新後、カメラの再起動が完了すると、更新状態を表すメッセージが表示されます。

モバイルカメラビューワーの更新が終了した段階で、正常に終了しなかったカメラが存在する場合はメッセージが表示されます。[メッセージ] 欄を確認してください。

メモ

- [中止] をクリックすると、モバイルカメラビューワーの更新を途中で中止できます。ただし、カメラが再起動に入った段階では中止できません。
- モバイルカメラビューワーの詳細については 『モバイルカメラビューワー 操作ガイド』 を参照してください。

設定値をバックアップする

複数台のカメラの設定値を一括でバックアップできます。カメラの設定情報を読み込んでバックアップファイルとして出力します。バックアップファイルを使用して、カメラをバックアップしたときと同じ設定に戻したり、他のカメラに同じ設定を適用できます。

重要

- バックアップ処理中にネットワークケーブルを抜いたりカメラの電源を切らないでください。カメラの故障の原因になります。
- 複数のPCで本ツールを起動して同時にバックアップを実行しないでください。カメラの故障の原因になります。
- バックアップは、カメラへの接続がない状態で行ってください。カメラのビューワーや設定ページなどを開いているときは閉じてください。

バックアップファイルの保存先を指定する

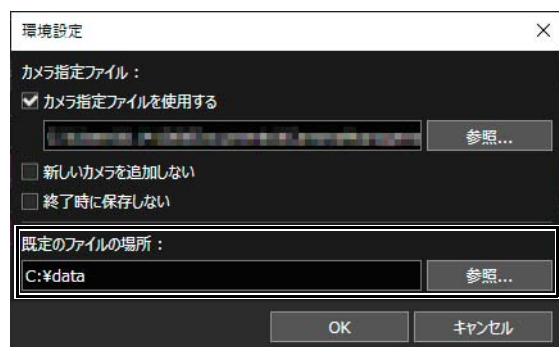
バックアップの前に、あらかじめバックアップファイルの保存先を指定します。

1 [ファイル] > [環境設定] を選択する

[環境設定] ダイアログが表示されます。

2 バックアップファイルのデフォルトの保存先を設定する

[参照] をクリックし、表示される画面でバックアップファイルの保存先を指定します。指定したフォルダは、[既定のファイルの場所] に表示されます。



3 [OK] をクリックする

バックアップを実行する

1 カメラ一覧から、設定をバックアップするカメラを選択する

2 ツールバーの をクリックする または、[メンテナンス] > [設定値のバックアップ] を選択する

[設定値のバックアップ] 画面が表示されます。

3 バックアップファイルの保存先を指定する

バックアップ画面では、[環境設定] ダイアログでバックアップファイルの保存先として指定したフォルダが、バックアップ先として表示されます。バックアップ先を変更するときは、[参照] をクリックし、表示される画面で保存先を指定します。



メモ

- [ファイル名] のパスは、コピー・ペーストできます。Ctrl + C キーでコピーしてから、コピー先の行を選択して Ctrl + V キーでペーストします。Ctrl キーを押しながらクリックするとコピー先を複数選択できます。
- バックアップファイル (拡張子.dat) は任意のファイル名を指定できます。ファイル名を指定しなかった場合は、カメラのMACアドレスがファイル名になります。
- バックアップファイルの保存先を変更しなかった場合、バックアップを繰り返すたびに前回のバックアップファイルは上書きされます。以前のバックアップファイルを保持したいときは、バックアップファイルをコピーするか、バックアップ画面で保存先を変更してください。
- お使いの機種によっては、バックアップ/リストア時に使用する [暗号化パスワード] を設定できます。パスワードに使える文字は、スペースを含めた半角英数記号のみです。
これは、バックアップデータそのものを暗号化するためのパスワードです。暗号化されたバックアップデータからリストアするときは、ここで設定したパスワードが必要になります。

4 [実行] をクリックする

設定値のバックアップの実行を確認するメッセージが表示されます。

5 [はい] をクリックする

カメラの設定値のバックアップが開始します。

バックアップ中は、[メッセージ] 欄にプログレスバーが表示されます。バックアップが終了した段階で、正常に終了しなかったカメラが存在する場合はメッセージが表示されます。[メッセージ] 欄を確認してください。

メモ

[中止] をクリックすると、バックアップ処理を途中で中止できます。この場合、処理待ちのカメラのみバックアップが中止されます。

設定値をリストアする

本ツールで作成したバックアップファイルを使用して、カメラの設定値をリストアできます。カメラの設定をバックアップ時点の内容に戻したり、他のカメラに同じ設定を移行できます。

重要

- リストア処理中にネットワークケーブルを抜いたりカメラの電源を切らないでください。カメラの故障の原因になります。
- 複数のPCで本ツールを起動して同時にリストアを実行しないでください。カメラの故障の原因になります。
- リストアは、カメラへの接続がない状態で行ってください。カメラのビューワーや設定ページなどを開いているときは閉じてください。
- リストアできるファイルは、本ツールの [設定値のバックアップ] (P. 65)、および、カメラの設定ページの [メンテナンス] > [バックアップ/リストア] で保存したファイルです。編集・加工されたバックアップファイルではリストアできません。
- リストア処理ではカメラが再起動するため、いったんすべての接続が切断されます。

1 カメラ一覧から、設定をリストアするカメラを選択する

2 ツールバーの をクリックする または、[メンテナンス] > [設定値のリストア] を選択する

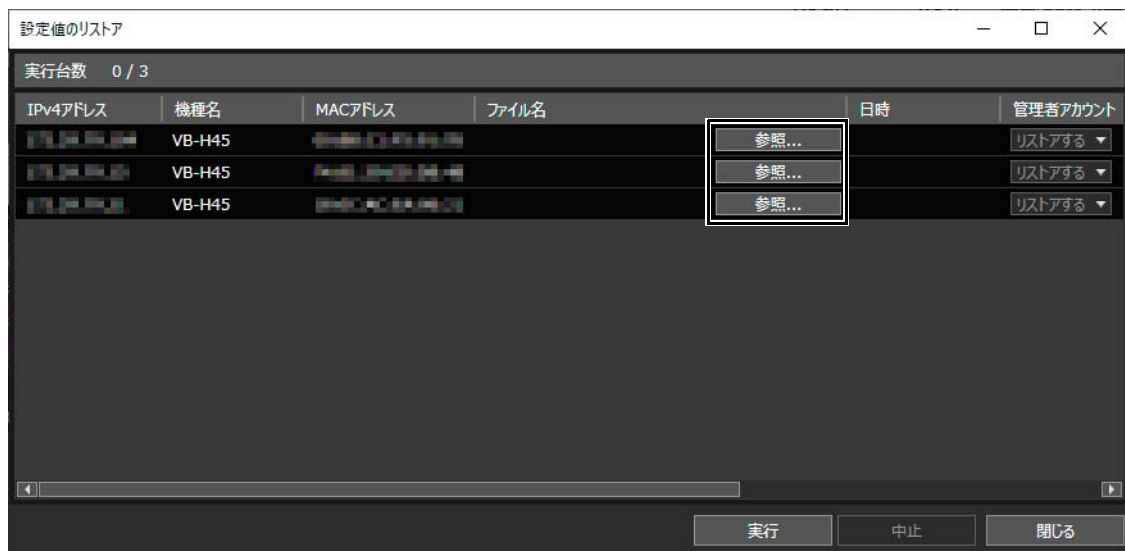
設定値のリストアにあたっての注意事項を示すメッセージが表示されます。

3 メッセージをよく読み、操作を続行するときは [はい] をクリックする

[設定値のリストア] 画面が表示されます。

4 リストアする設定が保存されたバックアップファイルを指定する

[参照] をクリックし、表示される画面で、バックアップファイルの保存先とファイル名を指定します。



メモ

[ファイル名] のパスは、コピー・ペーストできます。Ctrl+C キーでコピーしてから、コピー先の行を選択してCtrl+V キーでペーストします。Ctrl キーを押しながらクリックするとコピー先を複数選択できます。

5 管理者アカウントをリストアするときは、[管理者アカウント]のプルダウンリストから[リストアする]を選択する

お使いの機種によっては、[管理者アカウント]の選択はできません。

重要

管理者アカウントのリストアを実行した場合、バックアップファイルを作成した時点でのパスワード設定に戻ります。バックアップ作成時の管理者パスワードを必ずご確認ください。

6 カメラのすべての設定値をリストアするときは、[全情報をリストアする]のプルダウンリストから[リストアする]を選択する

お使いの機種によっては、[全情報をリストアする]の選択はできません。

重要

[全情報をリストアする]に設定した場合、IPアドレスなどのネットワーク設定やSSL/IPsecなどのセキュアな通信に関する情報もリストアされます。このため、リストア後にカメラのIPアドレスが重複することがあります。実行する際はご注意ください。

メモ

お使いの機種によっては、バックアップ/リストア時に使用する[暗号化パスワード]を入力できます。パスワードに使える文字は、スペースを含めた半角英数記号のみです。

暗号化されたバックアップデータからリストアするときは、バックアップ時に設定したパスワードを入力します。

7 [実行]をクリックする

設定値のリストアの実行を確認するメッセージが表示されます。

8 [はい]をクリックする

カメラ設定値のリストアが開始します。

リストア中は、[メッセージ]欄にプログレスバーが表示されます。リストアが終了した段階で、正常に終了しなかったカメラが存在する場合は、メッセージが表示されます。[メッセージ]欄を確認してください。

メモ

[中止]をクリックすると、リストア処理を途中で中止できます。この場合、処理待ちのカメラのみリストアが中止されます。

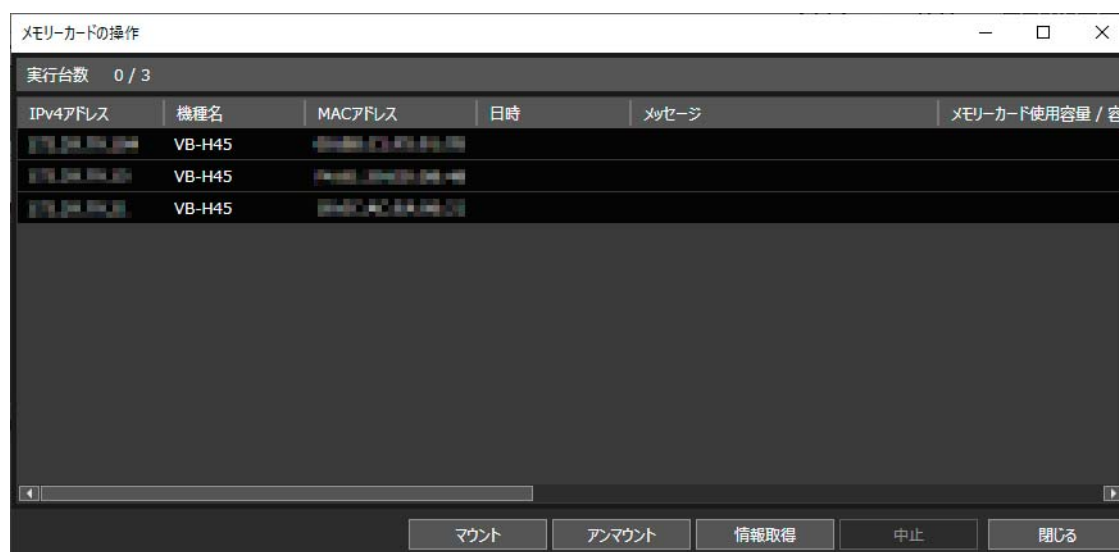
メモリーカードをマウント/アンマウントする

カメラに挿入されているメモリーカードのマウント (認識)、アンマウント (認識解除) または情報取得ができます。たとえば、カメラの電源を切るときや、メモリーカードを取り出すときに、複数のカメラに対して一度にまとめてメモリーカードをアンマウントできます。

1 カメラ一覧から、メモリーカードを操作するカメラを選択する

2 ツールバーの をクリックする または、[メンテナンス]>[メモリーカードの操作] を選択する

[メモリーカードの操作] 画面が表示されます。



3 メモリーカードの操作をする

下記のボタンをクリックして操作します。操作中の動作は、[メッセージ] 欄に表示されます。操作が終了した段階で、正常に終了しなかったカメラが存在する場合は、メッセージが表示されます。[メッセージ] 欄を確認してください。

[マウント]

選択したカメラのメモリーカードのマウントを実行します。

[アンマウント]

選択したカメラのメモリーカードのアンマウントを実行します。

メモ

お使いの機種によっては、メモリーカード未挿入時に [アンマウント] をクリックすると、メッセージ欄に [アンマウントされました] と表示されます。

[情報取得]

マウント中のメモリーカードの情報を取得し、一覧に表示します。

録画種別 ([録画ストリーム]、[アップロード]、[イベント]、[タイマー]、[手動]、[ONVIF]) に表示される [保存可] / [保存不可] は、録画種別ごとの規定保存枚数を超過しているかどうかを表します。

カメラを再起動する

複数台のカメラに対して一括で再起動できます。

1 カメラ一覧から、再起動するカメラを選択する


2 [メンテナンス]>[カメラの再起動]を選択する

選択したカメラの再起動を確認するダイアログが表示されます。

3 [はい]をクリックする

カメラが再起動します。

メモ

カメラの再起動が完了してもそのカメラの [接続状態] が [接続可] にならないことがあります。 (カメラの情報更新) をクリックしてカメラ情報を更新してください。

カメラを初期設定に戻す

複数台のカメラに対して一括で初期設定に戻すことができます。

重要

- 初期設定に戻す処理の実行中は、カメラの電源を絶対に切らないでください。電源を切ると、正常に起動しなくなる場合があります。
- 初期設定に戻す処理は中断できません。
- 初期設定に戻す前に、現在の設定値をバックアップしておく (P. 65) ことをお勧めします。

1 カメラ一覧から、初期設定に戻すカメラを選択する

2 [メンテナンス] > [カメラを初期設定に戻す] を選択する

[初期設定 (ネットワーク設定は除く)]

管理者アカウントやネットワーク設定などを除くユーザー設定値が、工場出荷設定の状態に戻ります。初期化されない項目については、カメラの『操作ガイド』を参照してください。

[初期設定 (ネットワーク設定を含む)]

管理者アカウントやネットワーク設定も含めて初期化します。

管理者アカウントも初期化されるため、カメラに接続できなくなります。本ツールを使って、初期設定を行ってください。

メモ

お使いの機種によっては、[初期設定 (ネットワーク設定を含む)] を選択できません。

選択したカメラを初期設定に戻すかどうかを確認するダイアログが表示されます。

3 [はい] をクリックする

カメラの再起動後、2で選択した初期設定状態に戻ります。

ログをダウンロードする

カメラ本体およびメモリーカードに記録されている動作状況のログを、テキストファイルでダウンロードし保存できます。

1 カメラ一覧から、ログをダウンロードするカメラを選択する

2 [メンテナンス]>[ログのダウンロード]を選択する

[フォルダの参照] ダイアログが表示されます。

3 ログを保存するフォルダを選択し、[OK]をクリックする

[ログファイルの保存が完了しました。保存先フォルダを開きますか?] というメッセージが表示されます。

4 [はい] または [いいえ] をクリックする

選択した保存フォルダに次のサブフォルダが作成されます。

log¥YYYYMMDDHHMMSS

ダウンロードしたファイルは、次のようなファイル名で保存されます。

MACアドレス(XX-XX-XX-XX-XX-XX)_区分_連番.txt

メモ

メモリーカードがアンマウントの状態では、メモリーカードのログは取得されません。

6章



付録

この章では、メッセージ一覧、トラブルシューティングについて説明しています。

メッセージ一覧

本ツール上に表示されるメッセージには、次の3種類があります。

- 情報メッセージ (情報表示レベルのメッセージ)
- 警告メッセージ (注意を促すメッセージ)
- エラーメッセージ (エラーを示すメッセージ)

警告メッセージとエラーメッセージが表示されたときは、下記の表に従って対処してください。

警告メッセージ

メッセージ	説明
指定されたバックアップファイルは形式が不正であるか、または、ファイルの内容が壊れています。	次の場合に本メッセージが表示されます。正しいバックアップファイルを指定してください。 <ul style="list-style-type: none">• バックアップファイルではないファイルを指定している。• 形式が異なるバックアップファイルを指定している。• バックアップファイルが改変されている。 本ツールで作成したバックアップファイルを改変すると正常に読み込めなくなります。この場合はバックアップファイルを再作成してください。
指定されたバックアップファイルはこのカメラとは異なる機種でバックアップされたためリストアできません。	リストア先の機種がバックアップファイルを作成した機種と一致していません。リストアするカメラと同じ機種のバックアップファイルを指定してください。 なお、古い機種のバックアップファイルで新しい機種をリストアしようとした場合、もしくは、その逆の場合は、機種間でバックアップファイルの形式そのものが異なることがあります。この場合は、バックアップファイルとして認識できないため、本メッセージではなく、「指定されたバックアップファイルは形式が不正であるか、または、ファイルの内容が壊れています。」というメッセージが表示されます。
指定されたバックアップファイルが見つかりません。	リストア画面で、存在しないファイルをバックアップファイルとして指定しています。バックアップファイルのファイル名と保存先を確認してください。
ファームウェアファイルの形式が不正であるか、ファイルが壊れています。	異なる機種のファームウェアが指定されています。正しいファームウェアファイルを指定してください。 改変されたファームウェアファイルでは更新はできません。 ファームウェアファイルが壊れていた場合は再度入手してください。
ファームウェアファイルがカメラのファームウェアと同じか、古いバージョンのため更新できません。	現在のバージョンと同じか、それより古いファームウェアには更新できません。ファームウェアのバージョンを確認してください。
ファームウェアファイルはこのカメラ用ではありません。	ファームウェアファイルの機種名とカメラの機種名が一致していません。カメラ一覧のカメラと、ファームウェアファイルの対象機種との組み合わせを確認してください。双方の機種が一致しないとファームウェアの更新はできません。
メモリーカードが入っていません。	メモリーカードをカメラに挿入していない状態で、メモリーカードの操作 (マウント、アンマウント、情報取得) を実行していません。カメラにメモリーカードを挿入してください。


メッセージ	説明
カメラに接続できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> 接続不可になっているカメラを選択して、カメラとの通信が発生する操作を行っています。カメラとの接続を確認してください。 [ファームウェア更新] 画面で指定した [ネットワークタイムアウト] の時間を経過しました。待ち時間を長く指定して、再度、実行してください。 カメラとの通信時にエラーが発生しました。カメラとの接続を確認してください。 カメラの設定値をリストアしたときエラーが発生しました。バックアップファイルを確認してください。
カメラに接続できませんでした。IPアドレス、ポート番号、ユーザー名およびパスワードを確認してください。	[カメラ基本設定]、[カメラ詳細設定]、[ファイルから設定] でカメラの設定を変更しようとしたとき、または、[カメラの追加]などでカメラ一覧にカメラを追加しようとしたときに、カメラに接続できませんでした。IPv4アドレスおよびポート番号、ユーザー名、パスワードを正しく指定してください。
<ul style="list-style-type: none"> 入力されたカメラ情報の指示どおりにカメラへファームウェアをインストールします。事前にカメラ情報の内容を必ず確認してください。 この操作ではフラッシュ ROMの書き換えを行います。万一正常に終了しなかった場合、カメラが起動しなくなる可能性がありますので、慎重に操作してください。 インストール中はLANケーブルを引き抜かないでください。また、カメラの電源をオフにしないでください。 「初期設定に戻す」を指定したカメラはネットワーク情報と時刻情報以外の全設定が工場出荷時設定に戻ります。 <p>ファームウェアを更新しますか？ 更新には時間がかかります。更新中は電源を切らないでください。</p>	ファームウェアの更新の実行時に常に表示されるメッセージです。メッセージの内容を確認してください。[はい] をクリックするとファームウェアの更新が開始します。
値の形式が不正です。	[カメラ基本設定] で指定するIPアドレスなど、形式が決まっているにもかかわらず、入力値が不適切なときに表示されるメッセージです。入力値の形式が正しいか確認してください。
カメラを追加できません。カメラの最大数を超えています。	カメラ一覧に256台のカメラが存在しているときに、新しいカメラを追加しようとしています。新しいカメラの追加をキャンセルするか、追加後でも256台以下になるように、カメラ一覧からカメラを削除してください。
ユーザー認証に失敗しました。	誤った認証情報 (管理者名と管理者パスワード) が入力されています。正しい認証情報を設定してください。
見つかりませんでした。	[カメラ詳細設定] で [表示] をクリックすると、入力した設定項目が検索されますが、該当する設定項目が見つからなかった場合は、このメッセージが表示されます。設定項目の名称が正しいかどうか確認してください。
不適切なファイルです。	次の場合に本メッセージが表示されます。ファイルの内容が正しい形式で記述されているかどうか確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> [ファイルから設定] や [カメラ詳細設定] で指定したファイルの内容が不適切な場合。 [ファイル] > [開く] を選択、もしくはカメラ指定ファイルをカメラ一覧にドラッグ&ドロップしたときに、カメラ指定ファイルの3行目以降が空行など、追加できるカメラがなく、かつ、共通認証情報をファイルから読み込んで適用しない場合。
ファイル名を指定してください。	[ファイルから設定] や [カメラ詳細設定] の選択時、ファームウェア更新時、バックアップファイルからのリストア時に、読み込むファイルが指定されていません。ファイルを指定して実行してください。

メッセージ	説明
このIPアドレスのカメラは既に登録されています。カメラの情報更新を行いますか？	[カメラの追加] で指定したIPv4アドレスのカメラが、すでにカメラ一覧に存在しています。該当するカメラの情報を更新するときは [はい] を、更新しないときは [いいえ] をクリックしてください。
指定されたファームウェアファイルが見つかりません。	指定したファームウェアファイルが見つかりませんでした。指定したフォルダにファームウェアファイルが存在するか確認し、正しい保存先フォルダとファイル名を指定してください。
指定されたパスにバックアップファイルを作成できませんでした。	存在しないフォルダ名またはファイル名をバックアップファイルの保存先として指定しています。正しい保存先とファイル名を指定してください。
ポート番号 (80、1024～65535) を指定してください。	[カメラの追加] や [カメラの認証] で、ポート番号が指定されていないか、または80、443、1024～65535以外の数値が指定されています。正しいポート番号を指定してください。
ポート番号 (443、1024～65535) を指定してください。	
ファイル名が重複しています。	設定値のバックアップ時に、複数のカメラに同じバックアップファイル名を指定しています。ファイル名の指定を見直してください。
失敗したカメラがあります。最近行った操作を確認してください。	設定の変更を適用できなかったカメラがあります。カメラ一覧の [最近行った操作] を確認してください。
カメラ指定ファイル名を指定してください。	[環境設定] で [カメラ指定ファイルを使用する] をチェックしているにもかかわらず、カメラ指定ファイルが指定されていません。カメラ指定ファイルを指定してください。
指定されたパス <ドライブおよびフォルダ名> は使用できません。	[環境設定] で [カメラ指定ファイルを使用する] をチェックし、無効なドライブおよびフォルダをカメラ指定ファイルの保存先として指定しています。カメラ指定ファイルの保存先の指定を見直してください。
指定されたフォルダに書き込めません : <フォルダ名>。	[環境設定] で [カメラ指定ファイルを使用する] をチェックしているが、無効なフォルダをカメラ指定ファイルの保存先として指定しています。カメラ指定ファイルの保存先の指定を見直してください。
ファイルが存在していません。	[ファイルから設定] で存在しないファイルが指定されています。正しいファイルを指定しているか確認してください。
IPv4アドレスが既に使用されているか、設定可能なIPv4アドレスがありません。 カメラ一覧とカメラ基本設定を確認してください。	[カメラ基本設定] や [ファイルから設定] で指定したIPv4アドレスが、すでにカメラ一覧にあるカメラで使用されています。IPv4アドレスの指定を見直してください。
IPv4アドレスが既に使用されているか、設定可能なIPv4アドレスがありません。 カメラ一覧とファイルから設定を確認してください。	
指定したIPv4アドレスの範囲が広い場合、設定に時間がかかる可能性があります。よろしいですか？	[カメラ基本設定] > [ネットワーク] の [IPv4アドレス] で指定したIPv4アドレスの範囲が256個を超えているため、設定に時間がかかる場合があります。
下記IPアドレスのカメラは既に信頼済みサイトに追加されています。 <IPアドレス>	[メンテナンス] > [信頼済みサイトへの追加] を実行した際、すでに信頼済みサイトに登録されているアドレスを、重複して登録しようとしています。登録しようとしているアドレスを見直してください。
要管理者登録のカメラが見つかりました。 カメラ設定 > 管理者アカウントの登録を行ってください。	[カメラの検索] の検索結果に、管理者アカウント未登録のカメラが含まれているときに表示されるメッセージです。該当するカメラに対し、管理者アカウントを登録してください。
ファイル内の下記IPアドレスのカメラを追加できませんでした。 ファイルの内容をご確認ください。 <IPアドレス>	[ファイル] > [開く] でIPv4アドレスのみのファイルを読み込んでカメラを追加しようとしたときに (P. 51)、指定したIPv4アドレスのカメラと接続できませんでした。IPv4アドレスや、管理者名、管理者パスワードの指定が正しいかどうか確認してください。

メッセージ	説明
新しいバージョンのカメラマネジメントツールで作成されたファイルのため、使用できません。 カメラマネジメントツールをバージョンアップしてください。	[ファイル] > [開く] や [カメラ設定] > [ファイルから設定]などで、現在使用しているカメラマネジメントツールより、新しいバージョンで作成されたファイルを読み込もうとしています。カメラマネジメントツールをバージョンアップしてから再度実行してください。
管理者名が重複しています。	[カメラの検索] や [共通認証情報の設定] で指定している管理者名が重複しています。管理者名の指定を見直してください。
管理者名が不正です。	管理者名が不適切です。
管理者パスワードが不正です。	管理者パスワードが不適切です。
失敗したカメラがあります。メッセージを確認してください。	[メンテナンス] メニューの [ソフトウェア更新]、[メモリーカードの操作]、[設定値のバックアップ]、[設定値のリストア] を実行したときに、エラーになったカメラがあります。実行時の各ウィンドウに表示される、[メッセージ] 列の内容を確認してください。
暗号化パスワードが不正です。	[メンテナンス] メニューの [設定値のバックアップ]、[設定値のリストア] を実行したときに、入力した [暗号化パスワード] に不正な文字が使われています。[暗号化パスワード] には、半角スペースを含めた半角英数記号のみを入力してください。
モバイルカメラビューワー更新ファイルがカメラのモバイルカメラビューワーと同じか、古いバージョンのため更新できません。	現在のモバイルカメラビューワーのバージョンと同じか、それより古いバージョンには更新できません。モバイルカメラビューワーのバージョンを確認してください。
モバイルカメラビューワー更新ファイルはこのカメラ用ではありません。	モバイルカメラビューワー更新ファイルの機種名とカメラの機種名が一致していません。カメラ一覧のカメラと、モバイルカメラビューワー更新ファイルの対象機種の見合わせを確認してください。双方の機種が一致しないと更新はできません。
モバイルカメラビューワー更新ファイルの形式が不正であるか、ファイルが壊れています。	異なる機種のモバイルカメラビューワー更新ファイルが指定されています。正しいモバイルカメラビューワー更新ファイルを指定してください。 また、改変されたモバイルカメラビューワー更新ファイルでは更新できません。 モバイルカメラビューワー更新ファイルが壊れていた場合は再度入手してください。
指定されたモバイルカメラビューワー更新ファイルが見つかりません。	指定したモバイルカメラビューワー更新ファイルが見つかりませんでした。指定したフォルダにモバイルカメラビューワー更新ファイルが存在するか確認し、正しい保存先フォルダとファイル名を指定してください。

エラーメッセージ

メッセージ	説明
ファームウェアのアップグレードが正常に終了しませんでした。カメラのファームウェアが破壊された可能性があります。30分ほど待ってもアクセスできない場合は、サービス窓口にお問い合わせください。	ファームウェア更新時に、30分ほど経過してもカメラのファームウェア更新のための再起動が終了しませんでした。カメラにアクセスできない場合は、カメラがネットワークに正しく接続されているかを確認したうえで、お客様相談センターにお問い合わせください。
カメラ指定ファイルの保存に失敗しました。	指定したフォルダとファイルの長さが260文字以上です。フォルダとファイルの長さが260文字以上にならないようにしてください。

メッセージ	説明
カメラ指定ファイルの読み込みに失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> カメラ指定ファイルのフォーマットが正しくありません。カメラ指定ファイルに記述されている内容を確認してください。 指定したフォルダとファイルの長さが260文字以上です。フォルダとファイルの長さが260文字以上にならないようにしてください。
カメラの設定変更に失敗しました。	カメラの設定変更の反映に失敗した場合に表示されます。カメラとの接続を確認してください。
値の組み合わせが不正です。	値が設定できない組み合わせです。メッセージの内容を確認し、設定内容を見直してください。 カメラマネジメントツールから設定できない項目との組み合わせエラーを解消するためには、カメラの設定ページから設定を変更してください。設定ページの詳細は、カメラの『操作ガイド』を参照してください。
<ul style="list-style-type: none"> ファームウェアアップグレードツール バックアップツール リストアツール メモリーカードアンマウントツール のいずれかが起動しているため、起動できません。	本ツールと同等の機能を持つほかのツール(ファームウェアアップグレードツール、バックアップツール、リストアツール、メモリーカードアンマウントツール)が起動した状態で本ツールを起動しようとしています。ほかのツールを終了させてから本ツールを起動し直してください。
H.264(2)を使用し、最大の映像サイズを選択する場合は、H.264(1)(2)ともフレームレートを15fps以下に設定してください。	設定できない組み合わせの設定をしています。メッセージの内容を確認し、設定内容を見直してください。
フレームレートが1fpsの場合は、1フレーム間隔を0.5秒に設定できません。	
[ADSR]でH.264が使用されているため、設定できません。	
H.264で映像記録(アップロード/メモリーカード)を行う場合は、3072kbps以下に設定してください。	
H.264で映像記録(アップロード/メモリーカード)を行う場合は、1.5秒以下に設定してください。	
[日付と時刻]のNTPサーバーの自動設定が使用するになっていません。	
[ネットワーク]でDHCPまたはDHCPv6が有効な設定になっていません。	
[カメラ]のデイナイトを「デイモード」または「ナイトモード」に変更してください。	
[イベント]のデイナイト切り換えが設定されているので、「デイナイト」を「オート」に設定できません。	
指定されたパスは長すぎます： <パス名>	
ログファイルの保存に失敗したカメラがあります。カメラ一覧でご確認ください。	ログのダウンロード処理終了時に、失敗したカメラがあります(複数カメラで実行したときは、1台でも失敗していれば表示されます)。カメラとの接続を確認してください。
アプリケーションが起動できませんでした(<ツール名>)。	[ツール]メニューで選択したツールの起動に失敗しました。カメラとの接続を確認してください。 カメラアングル設定ツールのみ、起動はしますが、アングル設定はできませんので、接続を確認してから操作し直してください。
カメラを検出できません。 ネットワーク設定を確認して、本ツールを再起動してください。 カメラのネットワーク設定時にはIPv6を有効にする必要があります。	IPv6が無効にされているネットワーク環境で、IPv4アドレスが重複しているカメラを検出したときに表示されるメッセージです。カメラとPCの両方ともIPv6の設定を有効にし、本ツールを再起動した後、再度  をクリックしてください。

メッセージ	説明
バックアップ時の暗号化パスワードと一致しません。	リストアする際に、バックアップ時と異なる暗号化パスワードが指定されています。暗号化パスワードが正しいかどうか確認してください。


トラブルシューティング

販売店や裏表紙に記載のお問い合わせ先に連絡する前に、次のことを確認してください。
メッセージが表示された場合は、「メッセージ一覧」(P. 74) の内容と対策を参考にしてください。

メモ

セキュリティソフトウェアが原因となって、問題が発生する場合があります。ご利用のセキュリティソフトウェアで、カメラや問題が発生したソフトウェアの除外設定を行ってください。

問題	対処方法
カメラマネジメントツールを起動できない	<ul style="list-style-type: none">• [Windows ファイアウォール] 機能が有効に設定されている可能性があります。許可されたプログラムとして本ツールを登録する必要があります。ファイアウォール設定の詳細は、カメラの『操作ガイド』を参照してください。• 本ツールと同等の機能を持つほかのツール (ファームウェアアップグレードツール、バックアップツール、リストアツール、メモリーカードアンマウントツール) が起動した状態で本ツールを起動しようとした場合は、起動していたほかのツールを終了させてください。• すでに本ツールを起動している場合、二重に起動することはできません。
カメラが検出されない	<ul style="list-style-type: none">• カメラとの接続を確認してください。正常に接続されている場合は、カメラの電源を入れ直してみてください。• 同じネットワークセグメントに存在しているカメラが検出されないときは、再度、 をクリックしてください。• 同じネットワークセグメントに存在しないカメラは検出されません。手動でカメラを追加してください (P. 50)。• IPv4アドレスのネットワークセグメントが異なるカメラでも、カメラと本ツールを使用しているPCの両方にIPv6リンクローカルアドレスが割り当てられている場合は、ルーターを越えない範囲内で検出可能となります。IPv6リンクローカルアドレスを割り当てるには、カメラとPCの両方とも、IPv6の設定を有効にする必要があります。 なお、PCのIPv6設定を有効にするときは、Windowsのネットワーク設定でIPv6を有効にした後、本ツールを再起動してください。• PCのIPv6設定を有効にできず、かつ、DHCPサーバーも利用できない環境では、カメラのAutoIP機能を使用して、カメラを検出することができます。<ol style="list-style-type: none">1.PCのネットワーク設定は、事前に [IPアドレスを自動的に取得する] にしておく2.DHCPサーバーがないネットワーク環境に、PCとカメラを接続する3.PCとカメラそれぞれに、169.254.xxx.xxxのIPv4リンクローカルアドレスが割り当てられる4.結果、同じネットワークセグメントに属することになるため、検出可能となる• ご利用のセキュリティソフトウェアで、カメラや問題が発生したソフトウェアの除外設定を行ってください。• 対応カメラ以外のカメラは検出されません (P. 11)。
選択したカメラの設定ページ、ビューワーが起動できない	<ul style="list-style-type: none">• Windowsの「インターネット オプション」で、カメラを信頼済みサイトとして追加してください (P. 37)。• カメラの動作環境を確認してください。

問題	対処方法
カメラとの認証に失敗する	<ul style="list-style-type: none"> カメラの管理者パスワードを変更した場合は、カメラごとに認証情報を設定する必要があります (P. 27)。
カメラ一覧に、カメラが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 検出されたカメラをカメラ一覧から削除した場合、カメラとの接続が正常でもカメラ一覧には表示されません。 をクリックしてカメラの検索を実行すると再度表示されます。
ファームウェア更新、設定値のバックアップ、設定値のリストアが異常終了し、[接続状態] が [接続不可] から復帰しない	<ul style="list-style-type: none"> カメラを再起動してください (P. 70)。
一部のダイアログが英語で表示される	<ul style="list-style-type: none"> Windows UpdateでMicrosoft .NET Frameworkの言語パックをインストールしてください。

カメラの管理者アカウントについて

カメラの機種やファームウェアバージョンにより、[管理者名]と[管理者パスワード]の設定可能な文字長は異なります。管理者アカウントを登録する際は、お使いのカメラの設定可能な文字長の範囲内で設定してください。

機種	ファームウェアバージョン	設定可能な文字長	
		管理者名	管理者パスワード
VB-H47、VB-M46、VB-S32VE、VB-S32D、VB-S820D、VB-S920F	すべてのバージョン	5～15	8～32
ME20F-SHN、VB-H45、VB-M44、VB-H730F Mk II、VB-S30D Mk II、VB-S31D Mk II、VB-S800D Mk II、VB-S900F Mk II、VB-S805D Mk II、VB-S905F Mk II、VB-S30VE、VB-S800VE、VB-S910F、VB-R13VE、VB-R13、VB-R12VE、VB-M50B、VB-H652LVE、VB-H651VE、VB-H651V、VB-H761LVE-H、VB-H761LVE、VB-H760VE、VB-H751LE-H、VB-H751LE	すべてのバージョン	5～15	8～31
VB-R11VE、VB-R11、VB-R10VE、VB-M641VE、VB-M641V、VB-M640VE、VB-M640V、VB-M741LE-H、VB-M741LE、VB-M740E	Ver. 1.1.8以降	4～15 ^{*1}	1～31 ^{*2}
	Ver. 1.1.0～1.1.7	4～15	1～31

*1 [カメラの検索] > [検出時に管理者アカウントを登録する] > [設定] > [管理者アカウントの登録] ダイアログでは (P. 18)、5文字からのみ設定可能

*2 [カメラの検索] > [検出時に管理者アカウントを登録する] > [設定] > [管理者アカウントの登録] ダイアログでは (P. 18)、8文字からのみ設定可能

I			
IPv4アドレス	30	カメラ詳細設定	55
範囲指定	31	カメラから読み込む	55
ワイルドカード指定	31	カメラに保存	55
		ファイルから読み込む	57
		ファイルに保存	56
S		環境設定	47
SSL/ポート番号	22	管理者アカウント	20, 32
		管理者パスワード	20, 32
		管理者名	20, 32
ア		キ	
暗号化パスワード	66, 68	起動	16
アンマウント	69	基本設定	29
		共通認証情報	27
イ		サ	
インストール	13	再起動	70
		サムネイル表示	22
エ		シ	
映像	35	システム要件	11
		絞り込み表示	23
		初期設定に戻す	71
		信頼済みサイト	37
カ		セ	
各部の名称	16	設定値のバックアップ	65
カメラ	34	設定値のリストア	67
IPv4アドレスでカメラを検出	50	設定ファイル	53
カメラ一覧から削除	25	設定ページ	37
基本設定	29		
検索	18	ソ	
再起動	70	ソフトウェア更新	62
カメラ指定ファイルでカメラを検出	51		
状態の確認	21	タ	
初期設定に戻す	71	対応カメラ	11
追加	19		
カメラアングル設定ツール	39	ツ	
カメラ一覧	17, 21, 24	ツール	39
絞り込み表示	23	ツール バー	16
表示項目	24		
カメラ基本設定		ー	
映像	35	認証情報	28
カメラ	34		
管理者アカウント	32		
ネットワーク	30		
日付と時刻	33		
カメラ指定ファイル	41		
起動時に読み込む	47		
構成	44		
ツール終了時に保存	42		
ドラッグ&ドロップで読み込む	47		
ファイルから読み込む	47		
メニューから保存	43		

ネ

ネットワーク30

ハ

範囲指定31

ヒ

日付と時刻33

ビューワー38

フ

ファームウェア更新62

フィルター23

へ

編集

カメラ指定ファイル44

カメラ詳細設定57

マ

マウント69

メ

メッセージ74

エラーメッセージ77

警告メッセージ74

メモリーカードの操作69

モ

モバイルカメラビューワー更新64

ヨ

要管理者登録22

ロ

ログのダウンロード72

ワ

ワイルドカード指定31

お問い合わせ先

製品に関するお問い合わせは、サポートページまたはお客様相談センターをご利用ください。

■ サポートページ

<https://canon.jp/support>

■ キヤノンお客様相談センター

0570-08-0074

受付時間<平日> 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日および年末年始弊社休業日は休ませていただきます)

- 上記番号をご利用いただけないかたは 03-6634-4532 をご利用ください。
- IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。
- 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。